

尚 和 会 会 報 2015  
平成27年5月1日

思い出とともに広がる同窓の輪



尚和会総会のご案内 平成27年5月17日(日)



アトラクション出演者

声楽と管弦楽器のアンサンブル  
『HERBrillante(ハーブリランテ)』



2001年大阪音楽大学卒業生を中心に結成。現在は様々な経歴を持つ演奏者が集まっている。大阪府堺市を拠点に、ブライダル演奏・学校芸術鑑賞会・施設への演奏訪問・コンサートホールでの主催コンサート・野外やショッピングモールでのイベント・ラジオ出演など活動は多岐にわたる。2015年よりKIDSメンバー(小学生〜)が新たに加入し、活動の場を広げている。今回は、昨年上演したミュージカル「レ・ミゼラブル」より2曲、唱歌メドレー、児童合唱など、全6曲をお楽しみいただけます。

ホテルアイボリーにて  
(豊中駅東口すぐ ☎06-6849-1111)

- ◆ 総 会 ..... オークキッドホール ..... 12:00~12:45
- ◆ アトラクション「HERBrillante (ハーブリランテ)」 ..... 13:00~13:30
- ◆ 懇親会(食事はシットイング・buffeスタイル) ..... 13:35~15:30
- ◆ お楽しみ抽選会
- ◆ 会費 ... 4,000円(2011年高全63期、高定61期以降の卒業生は2,000円)

発行—— 尚和会

発行責任者 大島 光昭(高全15期)

会長挨拶  
母校創立八十周年に向けて



尚和会会長  
大島 光昭  
(高全15期)

新緑の色ます季節、尚和会会員の皆様には、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

今年の会報をお届けいたします。そして、本会報をお読みいただいている会員皆様の多大なるご支援に対し、深く感謝申し上げます。

さて、二年後の平成二十九年は、母校が創立八十周年を迎えることとなります。

尚和会も去る四月一日に、『桜塚高等学校創立八十周年記念事業実行委員会』を立ち上げました。過去の七十、六十、五十周年事業とは一風違った記念事業を、母校共々盛大に挙行したいと考えています。概略は来年度発行の会報には掲載出来ると思います。

尚和会の目的の一つに、母校の発展に寄与することとあり、昨年度は、電子黒板機器類一式を寄贈し、一、二学年全教室への設置が完了しました。

こうした母校に対する援助協力を例年続けている訳ですが、昨年、学校側が在校生に対し行った学校教育自己診断アンケートで「尚和会を知っている」の項目は、肯定的評価が四十七・八％という結果が出て、意外と思いつつ、まだまだ同窓会尚和会の存在のPR活動が十分でないと思慮するに至りました。

現在、約二百五十名いる理事、評議員の若返りと組織の再活性化が、将来の尚和会の存続を左右する重要な懸案事項です。

どうか、記念すべき創立八十周年記

念事業を成功させる為にも、是非、会員各位の例年以上の寄付協力金をお願い申し上げます。

どうぞ向後の尚和会の活動にご期待戴きたいと思っております。

ご挨拶



校長  
加藤 孝之

尚和会会員の皆様には、平素から桜塚高校の教育活動にご理解とご協力としてご支援を賜り、誠にありがとうございます。

特に昨年度は尚和会の皆様方のご支援を中心として、全日制のPTA、桜塚会、そして定時制の振興会の全面的なご支援を頂き、ICT機器である超短投写焦点型の電子黒板を1、2年生の全教室（北館全教室）に配置することになりました。ありがとうございます。実践し、全日制及び定時制の全ての生徒の学力向上に資するために有効活用をさせていたただきたいと思っております。

さて、生徒達は様々な分野でよく頑張っています。例えば、今年の大学入試の結果ですが、素晴らしい成果を残してくれています。今春卒業した高校



第67期生である現役生は過去最高の頑張りを見せられました。現時役のときは悔しい思いをした浪人生も

よく頑張ったと思います。「関関同立」といわれる、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学の難関私大に過去最高の合格者を出しています。近畿大学へも過去最高の合格者を出しています。本当によく頑張ってくれました。

部活動に関しては、部活動への加入率は85%を超えており、運動系や文科系の各クラブが日頃から熱心な活動を行っています。私は日頃から運動部に關しては、公式戦をできるだけ応援に行こうと心掛けています。文科系のクラブに關しても、演奏会や発表会などに可能な限り出席するようにしていますが、どのクラブにおいても毎回、生徒達の一生懸命さ、真面目さ、そして何よりも輝いている姿に感動します。昨年度については、ダンス部が4年連続で、軽音楽部が3年連続でそれぞれ全国大会に出場し、学校を盛り上げてくれました。これらのクラブには尚和会様から、激励金をいただきました。ありがとうございます。

本校では「めざす学校像」として「多文化社会に生きるリージョナルリーダーからグローバルリーダーの育成」をミッションとして掲げています。このミッション実現のために様々な取り組みを進め、学ぶ力をつけ、人間力をつけています。様々な取り組みの中では、このミッションをより実現するために、この4月に入学した70期生から専門コース制を導入します。文系には、グローバルスタディコミュニケーションコース（GSC）、理系にはグローバルスタディサイエンスコース（GSS）を設置します。この両コースでは、英語や理数系科目の強化により、国公立・関関同立など難関大学合格に向けて学力の底上げをはかり、海外への進学も視野に入れた授業を行います。

また、一昨年度からアメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ周辺へ「海外語学研修」を始めています。先月に同所への2回目の「海外語学研修」も成功裏に終了することができました。22名の生徒と2名の付添い教員が、今年も3月31日に元気に帰国しました。「海外語学研修」に加えて、昨年度からはアジアへの異文化研修にやはこの3月にお隣の韓国へ出かけます。韓国では異文化に触れ、現地の高校生と交流を深め、熱烈歓迎を受けました。いずれの研修でも参加した生徒達は「もう一度行きたい」「帰りたくなかった。」など肯定的評価をしてくれています。今後も積極的に国際交流を進め、生徒達には様々な経験を積んでもらいたいと願っています。

私は平成23年度に本校の定時制課程に准校長として赴任し、平成25年度に全日制課程に異動しました。本校に赴任以来丸4年が経過し、この4月から5年目を迎えています。今でも毎日本当に良い学校だと心から感じながら勤務しています。毎日が楽しくて仕方ありません。素晴らしい生徒達として素晴らしい先生達に囲まれて毎日とても充実しています。定時制での2年間そして全日制での現在までの2年間も様々な施策を行って参りましたが、先生達に支えられて現在があります。これからも個々の生徒達のそれぞれの無限の可能性を少しでも多く引き出すべく、教職員一丸となって全力で支えていきます。

最後になりましたが、今後の桜塚高校のますますの発展の為に、教職員一同引き続き誠心誠意努力してまいりますので、尚和会会員の皆様には変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

Contents

尚和会会長・校長ごあいさつ	2	同期会開催予告	14
学校だより	3	投稿記事	15
しだれ桜 観賞会	5	お便りから	20
母校クラブだより	6	教職員人事異動	22
尚和会通信・各期連絡先	8	平成26年度 新年理事会、評議員会報告	24
役員紹介	9	物故者芳名簿	24
尚和会決算・予算報告	9	平成26年度会報代・協力金	25
同期会報告	11	平成26年度総会・懇親会	28

夜桜ニュース



定時制の課程  
准校長 大崎 年章

尚和会の皆様、平素は定時制の課程にご協力を賜り誠に有難うございます。

今年度は39名の新入生を迎えてのスタートになりました。定時制全体への応募も今年度は少なく、大阪北部の定時制5校の2次募集でも総数200に対し応募数は17に留まりました。北部での需要数が絶対的に少ないのか、今年から開校した少人数で基礎学力のやり直しを謳うエンパワメント・スクールの影響があるのか、他の理由があるのか、府教委の分析を待ちたく思います。

さて、昨年度に立ち上げられた2つの組織をご紹介します。

まずは「情報委員会」です。昨今の学校現場では、どの分野でもICTの恩恵に浴しています。そこで、生徒情報、成績処理、情報管理、授業内容など、想定されるあらゆる分野を網羅し調整する組織を設立しました。



た。全教員が何れかに属しその分野を機能させていく。この様子は、昨年度の府教委の研修会で紹介されま

した。

2つ目は、「生徒支援委員会」です。

定時制には色々な支援を必要とする生徒が在籍していますが、こうした生徒に対しての組織だった体制はありませんでした。そこで、核になる組織で対応事例のノウハウを蓄積し、個別にその応用が出来るような体制を作りました。学校としては、出来ること出来ないことの線引きは大切ですが、出来る範囲のことであればこの組織を活用し、教員の負担を少しでも軽減出来ればと思います。また、生徒の支援にご協力いただいております若人集団「うぐはぐ」さんが、今年度は大阪府とスクラムを組み、週に3回来て頂けることになったのも嬉しい限りです。

以上のように定時制では、地固めをしながら、一步一步前進を続ける所存です。どうか尚和会の皆様には、今まで同様、定時制の課程へのご支援、ご協力の程をよろしくお願いいたします。



学校だより

67期 三年間を終えて

学年主任 桑田 誠 (高全35期)

67期のみなさん、卒業おめでとう。この学年は、「あいさつをしよう」「時

間を守ろう」「人の話を聞こう」というスローガンをかけスタートしました。最初はなかなか挨拶も返してくれませんが、1年の1学期が終わるころには、みんながあいさつするようにになりました。また、遅刻も少ないといわれましたし、学年集会で私がほとんど怒らなくても話を聞いてくれました。単純なことなのですが、みんながスローガンを守ってくれ、先生たちも気持ち良く学年を終了することができました。ありがとうございます。

1年の文化祭の文化委員会で「合唱をしよう!」と提案をしました。各クラスの文化委員から「いやや、私たちは好きなことをしたいんや!」といって拒否されました。実際、各クラスの取り組みは素晴らしく、賞をとったクラスもありました。この「自分たちで企画して楽しむ」姿勢は2年、3年でも発揮できたと思います。

2年では最大の行事である台湾修学旅行に行きました。香辛料の八角には悩まされた人も多かったですね。でも、台湾の高校生との交流、短い時間ではありましたが、お別れになった時はなかなか印象深いものになりました。

3年での体育祭での各クラスのまとめ、1・2年生への指導などを見て、皆さんの成長を実感しました。入学時に「早く桜塚生になってください」と言ったのですが、3年の体育祭をみて、「すっかり桜塚生」と思いました。また、苦しかった受験勉強も「受験は団体戦」をしっかりと理解して勉強してくれたと思います。

これから、桜塚高校卒業生として、いろいろな方面で活躍してください。ときどき近況報告をしてくれるとうれしく思います。

各種電子機器（半導体製造機器、計測・制御機器、データ伝送機器等）の機器販売から、先端技術応用システムの企画・開発・製造迄、通信・制御・計測のことは何でもお任せください!



新日本電工株式会社 代表取締役 小柳大吾 (高全15期)

創立 昭和27年(1952年) 資本金 1000万円

本社所在地 〒520-0047 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂島ビル6階)  
TEL:06-6363-2001(代表) FAX:06-6365-8946

工場所在地 〒574-0014 大阪府大東市寺川4丁目8番26号  
TEL:072-871-3471(代表) FAX:072-871-3326

URL

http://www.snd.co.jp  
http://youtu.be/Hqa1979ERbw

ポータブル・スマートベクレルカウンター(放射線計測器)

持ち運べる!  
超小型!&軽量!  
高精度!



(特徴)

①25Bq/kgを約20分で正確に測定!

②重量僅か17kg!  
・現場での持ち込み測定可能!  
・モバイルバッテリーで半日稼動!

③カンタン操作  
・タッチパネルで直感的操作!  
・市販Ziplock容器で手軽に試料交換!

④豊富な製品ラインアップ!  
・タブレット一体、別体、その他カスタマイズ可能!



### 定時制65期生の卒業式を終えて

定時制65期生 4年学年主任 仲尾 久美

今春3月4日、尚和会役員の皆様、保護者、在校生、OB・OGや旧職員など、お世話になった多くの方々が暖かく見守って下さる中、定時制65期生の卒業証書授与式を挙行致しました。

定時制の卒業式では、准校長が卒業生ひとりひとりに直接卒業証書を渡すのですが、卒業生の立ち居振る舞いはとても凛としていて、新たな門出にふさわしいものでした。また、堂々と答辞を読み上げる卒業生代表3名の姿には、様々な事情や課題を抱えながら夜校で学んできた生徒達の成長ぶりを実感させられました。とてもすばらしい式であったと思います。

今年新たな企画として、式後に卒業生と教職員が再び会場に戻り、金屏風をバックに全員で記念撮影を行いました。実は、何年も前に同様の写真を撮っていた時期があるようで、定時制ご卒業の尚和会会員の皆様の中には、ご経験なさった方がいらっしゃるかもしれません。



かと思いません。今回はそれを復活させたわけですが、時間的、物理的制約もあり、我々担任の「生徒達のため」に、ぜひやりたい!

という思いと、その思いを受け止めてくれた他の教職員の協力、そして式当日に手際よく会場を片付けてくれた在校生の働きがあつてこそ、実現できたことです。この記念撮影の復活を通して、夜校の暖かさやチームワークのよさを改めて感じることができました。制服がないためスーツや袴姿の卒業生も多く、とても華やかな、そしてアットホームな夜校らしい写真を撮ることができましたので、65期生には卒業アルバムに掲載して届けたいと思います。

4年生は記念撮影のあとでHR教室に入り、教職員からのメッセージビデオを見たあと、全員がひと言ずつ話して終わろうという計画でしたが、あふれる思いは短時間で語り尽くせるはずもなく、結局完全下校時刻の22:30になって、ようやく解散しました。担任として最後に話をする時間すら取れませんでした。私達の気持ちは言葉にしなくてもさつと伝わっているはず。私達担任にとつても、本当に心に残る4年間でした。

今回の卒業を機に定時制65期生が新たに尚和会のお仲間に加えて頂きました。同窓会の先輩の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【定時制65期生の皆さんへ】  
この会報が届くのは5月頃だと聞いています。多くの人が新しい環境で頑張っていることと思いますが、そろそろ少し疲れが出てくる頃かもしれません。

慣れない環境ではうまくいかないことも多いはず。でも、たいていは何とか乗り越えます。諦めず、誠実に努力し続けることはとても大切です。けれど、しんどくてたまらない、困っているのに誰にも言えない...もし

も、今あなたがそんな状況なら、遠慮なく連絡してきて下さい。夜校はいつまでもあなたたちのホームです。勿論、いい報告も待っていますよ。

### 今春の進路状況について

進路指導部長 大西 伸世

今春卒業した67期生は、昨春卒業した66期浪人生とともに、本校の合格者記録を塗り替えてくれました。「関関同立」のべ合格者数が初めて250名を超え、近畿大学の合格者数も過去最高となりました。今年も3月後期入試までの粘り強い取り組みが見られ、3年間のクラブ活動で鍛えた精神力・忍耐力はここでも発揮されていると思われれます。

結果として67期生の4年制大学進学者の割合は、78.5%（昨年68.8%、一昨年64.5%）と大きく増加しました。短大、専門学校への進学者は減少しています。

合格状況は以下のとおりです。  
二〇一四年度入試のべ合格者数（現役・浪人計、指定校推薦・AO・公募制推薦を含む）

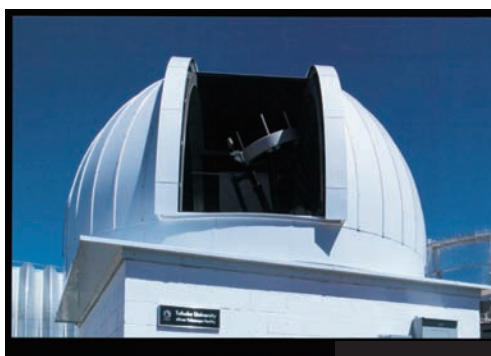
国立大学	主な私立大学	
秋田大学	関西学院大学	77
埼玉大学	関西大学	121
福井大学	同志社大学	27
信州大学	立命館大学	33
京都工芸繊維大学	甲南大学	33
大阪大学	龍谷大学	46
大阪教育大学	京都産業大学	18
徳島大学	近畿大学	164
大分大学	摂南大学	39
公立大学	武庫川女子大学	55
京都府立大学	甲南女子大学	62
大阪府立大学	大阪工業大学	35
大阪府立大学	関西外国語大学	26
兵庫県立大学		

Astronomical Observatory Dome MAUNA-KEA

## 天体観測機器一筋のノウハウを活かしたマウナケアドーム



特殊形状天文台の例



大原天文台

人類は大昔から星を見て、自分たちはどんな存在かを考えてきた 自社工場で開催・製作する専門家集団

### 商号 協栄産業株式会社

業務内容 天体望遠鏡販売、天体観測ドーム製作、その他光学機器、一般製造販売

本社所在地 〒530-0012 大阪市北区芝田2-9-18 TEL.06-6375-9701 / fax.06-6375-9703

東京店 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5 TEL.03-3526-3366 / fax.03-3526-3090

大阪店 〒530-0012 大阪市北区芝田2-9-18 TEL.06-6375-9701 / fax.06-6375-9703

大原研究所 〒563-0131 大阪府豊能郡能勢町野間大原325 TEL.072-753-1704 / fax.072-73-1706

大原天文台 〒563-0131 大阪府豊能郡能勢町野間大原716

代表取締役 谷 元美 (高全15期)

創業 1959年5月30日



桜塚高校・尚和会共催 「しだれ桜」 観賞会  
 ～地域の皆様とともに～

副会長 高全33期 崎阪 治

本年も4月4日に恒例となった「しだれ桜観賞会」地域の皆様とともに「しだれ桜」を、学校と共催で開催いたしました。

天気予報では、前後の日とともに3日連続の雨で中止かなと危ぶまれましたが、直前の予報では雨も小休止するようでしたので開催を決定いたしました。



軽音楽部演奏



吹奏楽部オープニング演奏



茶道部野点（お茶席）

当日は予報に反して好天で、午前10時に吹奏楽部のオープニング演奏と校長先生のご挨拶で開幕し、軽音楽部と箏曲部の演奏と続き、茶道部の野点では用意したお茶菓子が足りなくなるほどの盛況で、約300名の方々にご来訪いただき終了いたしました。  
 卒業生やご近所の方々を始め、母校でおよそ半世紀にわたり教鞭をとっていただいた井上まさ先生も元気なお姿

をお見せいただきました。  
 尚和会では、学校と卒業生に加えて地域の皆様ともつながる絶好の機会であり、母校のますますの発展のために非常に有益でありますので、これを恒例行事として定着させたいと考えております。  
 基本的に4月の第1土曜日を想定しておりますので、是非ご予約に入れておいていただければ幸いです。  
 尚、桜の開花予想や学校行事の関係で変更となる場合もございますので、確定情報は尚和会HP (<http://www.sakura-showakainet/>) でご確認ください。学校へお問い合わせの上ご来場ください。



今年も名物恩師井上まさ先生もご来場



お子様連れも多数来場



高全17期クラス会でご来場



箏曲部演奏



小山前校長ご夫妻も来場

### 母校クラブだより

#### ESS

部長 辻本 彩夏

ESS部は現在3年生4名、2年生2名の計6名で活動しています。

普段はアメリカ人の先生に指導していただき、英会話力の習得、改善を目指して活動しています。

英語を使ったゲームをしたり、時にはパーティーを開いたりして、毎日楽しく英会話を学んでいます。

英語の発音練習として、毎年英語の歌をミニコンサートで披露したり、昨年度は豊中市の成人式に、外国人成人のための会場案内ボランティアとして参加したり、活動内容に広がりもできてきました。

英会話と一口に言っても、その話す内容、異文化についても学んでいます。

#### ソフトテニス部

部長 加藤 桃花

私たちソフトテニス部は、先輩・後輩の関係を大切にしながらも、コートの中では対等な関係でテニスができる環境作りをモットーに活動しています。

平日は放課後の限られた時間の中で毎日工夫しながら練習しています。休日には外部コートに来ていただき指導していただいています。

その成果もあり、北摂大会団体戦ではBチームが優勝することができました。

これからもより良いソフトテニス部を部員みんなで作り上げていきたいと思っています。

#### バドミントン部

現在、バドミントン部では男子7人、女子21人の28人で毎日楽しく活動

しています。男子、女子の仲も良く、毎日笑顔の絶えない部活です。

冬に行われた大阪府大会では練習の成果を発揮しましたが、残念ながら記録には残ることができませんでした。

しかし、その結果を受け止め、今の練習に生かしています。一人ひとりが今よりもさらに真剣に取り組み、楽しく活動することが出来るような部活をこれからも目指していきたいと思っています。

#### 家庭科部

部長 畑 美沙樹

私たち家庭科部は、3年生1人、2年生4人で少ないながらも和気あいあいと活動しています。春や夏はクレープや、マドレーヌ、ようかんなど自分たちでメニューを決めて作っています。文化祭にはクッキーを作って販売します。夏休みにはそのクッキーのための試作を何度も作るので、大量に持つて帰ることもしばしばです。冬には主に裁縫をしますが、クリスマスにはケーキを作って食べたりと、いつも楽しんでいきます。

#### 軽音楽部

顧問 久谷 秀明

昨年度は地域行事や同窓会、軽音楽部連盟主催ライブや自校・他校でのライブ等、合わせて年間50本ほどのライブに参加、または企画しました。4年前に岡町・桜塚商店街応援ソング「おかまち桜いろ」を制作し、現在も後輩たちが歌い継いでいます。その他、オリジナル曲の制作にも取り組んでいて、毎年CDも制作しています。これからの軽音楽部の活動にもご期待ください。

#### 剣道部

副部長 富田 由季

私たち剣道部は、現在2年生5人、1年生5人の合計10人で、平日は放課後、休日は午前中に毎日活動しています。

近頃の練習では、扱う技の種類も多くなり、インターハイ出場という目標を掲げる部員の気持ちも高まっています。その甲斐もあって、いままです。その甲斐もあって、いままです。その甲斐もあって、いままです。

#### 柔道部

69期主将 山田信一郎

顧問 坂本 辰典

柔道部は現在1年生3人で活動しています。初心者ばかりですが、顧問の先生の指導の下毎日練習しています。

昨年度は、北野・豊島・池田高校との合同練習も盛んに行ってきました。また他にも神戸大での合同練習会や、修道館での寒稽古などにも積極的に参加し、人数が少ないうちに、一生懸命練習に励んできました。

今後も練習にしっかりと励み、先輩の皆さまに良い報告ができるよう努めていきたいです。これからも桜塚柔道部の応援をよろしく願います。

#### 女子ハンドボール部

顧問 桑田 誠

67期12名が卒業していきました。この学年は1年の春合宿で非常に強く、ほとんど勝ってきましたので、「これはいける」と思っていました。2年になりけが人も増え、なかなか調子が上がらずに苦戦を強いられました。ま

た、部員の仲が非常に良かったので、調子の良い悪しが部員に伝搬し、良い結果は得られませんでした。それでも腐らずに最後の大会まで戦い抜いた姿勢は立派でした。それが後輩に伝えられ、豊中会長杯では準優勝、市民大会では優勝することができました。67期はしっかりと伝統を伝えることができたとと思います。次のステップも頑張れ。

吹奏楽部

マネージャー 西川 可純

吹奏楽部は2年生18名、3年生12名で明るく元気に活動しています。

音楽を通して多くの人に出会い様々な経験をさせて頂いています。夏はコンクールに向け練習を重ね、目標だった優秀賞をとりました。冬には東北大地震の被害に遭った岩手県大槌高校へ行き、交流コンサートで合同演奏をしました。実際に行かなければわからない事をたくさん知り、改めて震災の恐ろしさを感じると共に、この経験を通して音楽に対する想いが強くなりました。これからも桜吹にしか奏でられない音楽で皆さんに笑顔と元気を届けていきたいと思っています。

#### 男子バスケットボール部

部長 藤森 隼也

マネージャー代表 中島 紺愛

2015年3月現在の所属人数は2年生部員14人、1年生部員13人、マネージャー6人。

年間の公式戦、準公式戦の結果

●公立高大会 3回戦進出  
桜塚高校 対 福井高校  
【57 - 61】

序盤から点差をつけられ苦しい状況のまま試合は終盤に入り、一度は同点に追いついたが相手の勢いを止めるこ

とが出来ず、惜しくも敗れる。

●新人戦 2回戦進出  
桜塚高校 対 星翔高校  
【47 - 88】

序盤は強豪相手に健闘し、五分五分で試合が始まったが、試合が進むにつれ相手のペースになり点差がひらいてしまった。

●会長杯 3位リーグ進出  
桜塚高校 対 豊中高校  
【35 - 43】

序盤から一進一退の攻防のまま試合は進んでいたが、ちょっとした気の緩みから点を取られ、惜しくも敗れる。

#### 男子ハンドボール部

顧問 桑田 誠

67期は2チームでできるぐらいの部員が入部し、練習を考えるのも一苦労しました。1年の中頃からは対抗戦もできるぐらいに各々が上達し、他校の2年生に混じって試合も頑張りました。2年になり、少しずつ部員が減り、チーム自体のモチベーションも下がった時期がありました。夏に合宿に行き、再び頑張る姿勢が見られました。部活動における成績はあまりよくありませんでしたが、引退まで選手12人、マネージャー2人は後輩を引っ張ってくれました。

#### 美術部

部長 中村 光歩

現在美術部は、1年生3名、2年生3名の合計6名で活動しています。

活動は平日のみですが、一人一人集中し、たまに部員同士お喋りなどしながら楽しく作品制作に取り組んでいます。

昨年の文化祭では缶バッチャやプラ

バンキーホルダーの販売に加え、ライブドローイングなどを行いました。授業や部活動で制作した作品は高校展、芸文祭、ブロック展などに展示しました。

また、それぞれの搬入や搬出のお手伝いもさせていただきました。

芸文祭では、美術部員の中で1年生が1人入選しました。

ブロック展では、今年も美術部が看板を制作させていただきました。

人数は少ないですが部員同士仲がよく、毎日楽しく活動しています。

**陸上部**

部長 西野 優星

桜塚高校陸上競技部は4人の顧問の先生方と短距離17人、長距離16名、マネジャー7人の40人で仲良く元気に活動しています。しかし、ただ仲良くするのではなく、お互いが仲間であると同時にライバルであることを認め合い、互いを高めあいながらそれぞれの「限界突破」を目指し練習をしています。その結果昨年の大阪IHでは男子5000mで8位入賞、大阪総体では男子5000mで4位、女子走り幅跳びで6位入賞という好成績を残し、公立校でありながらも強豪校と聞こえる成績を示してくれました。これからもみんなで日々努力し、それぞれの目標に向かって全力で走りたいと思います。

**箏曲部**

部長 津田朝由美

私たち箏曲部は、火曜日と木曜日の放課後に活動しており、文化祭等の行事の前には土曜日活動しています。毎年文化祭、芸術文化祭に出演し、時々地域の行事にも呼んでいただいています。部員は現在、2年生2名と1年生2名の計4名で、木曜日に来られ

る外部の先生の指導のもと活動しています。少人数ではありますが、作法室のゆったりとした空気の中、4人で仲まじく活動しています。

**女子バレーボール部**

顧問 田中 聡

現在(H27・4・8)、3年生6名、2年生9名、計15名で活動しています。

昨年まで世話をされていた主顧問(平澤先生)がご転勤なされ、この4月

から私(田中聡)が主顧問となり11年ぶりに女子のバレーボールチームのお世話をしています。まずは何よりも

伝統ある「桜塚高校女子バレー部」が今後ますます発展していけるよう、1

年生の新人部員が中学でのバレー経験者、未経験者を問わず、一人でも多く

我がチームに入ってくれるように勧誘活動を頑張っています。

チームは現在3部リーグに所属していますが、普段の練習を見てもまだまだ伸びていける要素は多分にあります

ので、これからが楽しみです。まずは4月26日にある部別リーグ戦にて、2

部リーグに昇格できるように日々、明るく練習しています。

**合気道部**

顧問 田中 宏子

伝統ある合気道部の灯を一年、二年各一名ずつの部員が守りつづけていま

す。昨年度より外部講師として山本師範に再度お越しいただき、他校との合同合宿や演武会への参加と積極的に活

動しています。年代を問わず、OB・OGの皆様方は気軽に激励にお越しください。歴代の顧問などをお迎えして

のOB・OG会が開催できれば、と願っておりますので顧問田中宏子(国語科)までご連絡いただけましたら幸甚

です。

**平成二十七年主なる行事**

校内理事 桑田 誠

在校生の元気な姿を見に来て頂きたいです。

**【全日制】**

5月25日～6月12日 教育実習期間

6月4日(木) 体育祭

(予備日は5日)

7月17日(金) 終業式

8月18日(火) 3年授業開始

9月13日(日) 文化祭

10月24日(土) 学校説明会

10月31日(土) 学校説明会

11月21日(土) 学校説明会

11月4日～7日 2年修学旅行(台湾)

12月24日(木) 終業式

1月21日(木) 1年合唱コンクール

3月2日(水) 卒業式

15日(火) 終業式

**【定時制】**

5月16日(土) 遠足

6月15日～26日 授業公開

7月8日～16日 球技大会

8月27日(木) 授業再開

10月1日(木) 前期終業式

10月1日(木) 後期始業式

5日(月) 文化祭準備期間

10月6日～16日 文化祭

15日・16日 3年修学旅行

10月29日～31日 授業再開

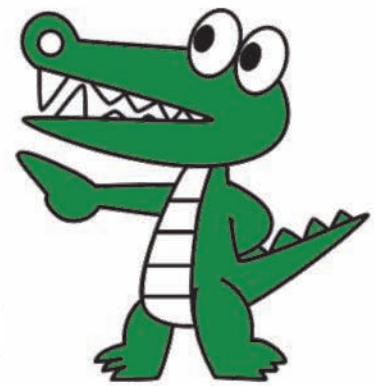
1月8日(水) 送別行事

1月13日～15日 卒業式

3月2日(水) 卒業式

15日(火) 終業式

**豊中応援寄附金**



豊中市キャラクター「マチカネくん」

～ がんばるとよなかを応援してください ～

【 寄附金の活用については、10項目の寄附メニューからご指定いただけます 】



詳しくはQRコードから もしくは『ふるさと納税 豊中市』で検索

**ご寄附の申込・お問い合わせ**

豊中市 財務部財政課 〒561-8501 大阪府豊中市桜塚3-1-1 (第一庁舎3階)  
電話 06-6858-2799

	高女 1期～ 8期	併中 1期～ 2期	高 1期～ 67期	定 1期～ 65期	定通併修 1期～ 15期	合計
会 員 数	2,062	229	29,255	4,521	152	36,219
物 故 者	539	18	1,058	125	0	1,740
住 所 不 明 者	340	45	8,351	2,460	37	11,233
住 所 判 明 者	1,183	166	19,846	1,936	115	23,246
判 明 率	83.5	80.3	71.5	45.6	75.6	68.9

尚和会会員数  
(単位:人)

ご叙勲おめでとうございます。  
心からお祝い申し上げます。

平成26年春の叙勲受章者

賞賜 瑞宝双光章  
 概要 更生保護功労  
 氏名 竹川 浩 大阪市 高全9期  
 久保 英之 豊中市 高全13期

第22回危険業務従事者叙勲受章者

(平成26年春)

賞賜 瑞宝单光章  
 概要 警察功労  
 氏名 伊藤 量知 豊能郡 高全13期  
 姫野 繁晴 大阪市 高全13期

平成27年度「同期会開催支援助成金」を受ける事の出来る期

高女4 高全2 高全7 高全12 高全17 高全22 高全27  
 高全32 高全37 高全42 高全47 高全52 高全57 高全62  
 高定5 高定10 高定15 高定20 高定25 高定30 高定35  
 高定40 高定45 高定50 高定55 高定60

「同期会開催支援助成金」は、  
 1. 卒業後初めて開催する同期会に交付します  
 2. 卒業後5周年以降に5年毎に開催する同期会に交付します(上記の期が対象です)  
 例卒業後8年目に初めて同期会を開催し助成金を受け取りましたが  
 続けて卒業後10周年にも開催することになりました……  
 この場合も助成金は受け取れますから申請して下さい。(クラス会は不可)  
 申請者は尚和会副会長(総務担当)に請求下さい。

尚  
和  
会  
通  
信

各 期 連 絡 先

期 氏 名 電 話	期 氏 名 電 話	期 氏 名 電 話	期 氏 名 電 話
高女1	高全28	高全64	高定42
高女2	高全29	高全65	高定43
高女3	高全30	高全65	高定44
高女4	高全31	高全66	高定45
高女5	高全32	高全67	高定46
高女6	高全33	高定1	高定48
高女7	高全34	高定3	高定49
高女8	高全35	高定6	高定50
高全1	高全36	高定7	高定51
高全2	高全37	高定8	高定52
高全3	高全39	高定9	高定53
高全4	高全40	高定11	高定54
高全5	高全41	高定12	高定55
高全6	高全42	高定13	高定56
高全7	高全43	高定14	高定57
高全8	高全44	高定16	高定58
高全9	高全45	高定17	高定59
高全10	高全46	高定18	高定60
高全11	高全47	高定19	高定61
高全12	高全48	高定21	高定62
高全13	高全49	高定22	高定64
高全14	高全50	高定23	高定65
高全15	高全51	高定25	高修1
高全16	高全52	高定27	高修2
高全17	高全53	高定28	高修3
高全18	高全54	高定29	高修4
高全19	高全55	高定30	高修5
高全20	高全56	高定31	高修6
高全21	高全57	高定32	高修7
高全22	高全58	高定34	高修8
高全23	高全59	高定35	高修9
高全24	高全60	高定37	高修10
高全25	高全61	高定38	高修11
高全26	高全62	高定39	高修12
高全27	高全63	高定41	



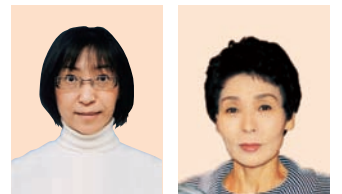
尚和会役員(平成27年度)



副会長(行事担当) 高全15期 南 正枝
副会長(財務担当兼会計) 高全14期 渡邊 憲一(新任)
副会長 高全13期 中岸 澄江
会長 高全15期 大島 光昭



会計 高全18期 中島 健二
副会長(広報担当) 高全33期 崎阪 治
副会長(総務担当) 高全29期 山澤 健二



退任(H27.3.31付)

副会長(広報担当) 大岩 正明(高全19期)

会計監査 高全31期 佐藤 雅加子
会計監査 高全13期 塚本 五十鈴

「平成27年28年 評議員会及び理事会開催日」(予定)

- 評議員会 (H27)
第一回 平成27年9月5日 (土) 会費制(会場未定)
第二回 平成27年11月14日 (土) 尚和会議室
(H28)
第一回 平成28年1月17日 (日) 新年会、会費制(会場未定)
第二回 平成28年1月30日 (土) 尚和会議室(決算報告、予算承認)
○理事会 (H27)
第一回 平成27年5月9日 (土) 尚和会議室
第二回 平成27年9月5日 (土) 会費制(会場未定)
第三回 平成27年11月14日 (土) 尚和会議室
(H28)
第一回 平成28年1月17日 (日) 新年会、会費制(会場未定)
第二回 平成28年1月30日 (土) 尚和会議室(決算報告、予算承認)

(※各案内葉書は開催前に発送します。)

尚和会 平成26年度 決算報告書 及び 27年度予算

Table with columns: 科目, 予算, 決算, 差引過不足, 備考, 27年度予算. Includes sections for 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenses).

【貸借対照表】(平成26年3月31日現在)

Table with columns: 借方, 貸方. Lists assets and liabilities.

以上、決算報告いたします。平成27年3月31日

決算に対し監査の結果、誤りの無いことを報告します。平成27年3月31日

財務担当副会長(高全13期) 中岸 澄江
会計(高全14期) 渡邊 憲一
会計(高全18期) 中島 健二

会計監査(高全13期) 塚本 五十鈴
会計監査(高全31期) 佐藤 雅加子

(備考)平成27年の会計年度は平成27年4月1日～平成27年12月31日の期間となります。
なお平成28年以降の会計年度は1月1日～12月31日の期間となります。

「卒業5年以内の皆様へ」

表紙にてご案内しております尚和会総会には毎年、懐しい担任の先生方も参加されています。
2011年(高全63期 高全61期)以降の卒業生の方は会費は2000円です(半額)
ぜひ同期の方をお誘いあわせてのご参加をお待ちしております。



学校経営を支援する 多彩なソリューションをご提供します。

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください
株式会社廣濟堂 データベース課

〒560-8567 大阪府豊中市蛸池西町2-2-1
TEL 06-6855-9241
http://www.kosaido.co.jp/



緑あふれる 市の中の山居

HOTEL IVORY

ホテルアイボリー

〒560-0021 豊中市本町3-1-16
TEL:06-6849-1111 FAX:06-6849-7727
URL:http://www.hotel-ivory.co.jp

# 同期会報告

## 桜花会だより

高女8期 中村 陽子

今年も老木ながら、桜花会は又、奮が膨んで来ました。古稀を過ぎた頃から何度か、これが納めの会と云いつつ、昨年も三十名近い参加がありました。

昭和三十年後半から、あちこちクラス別やグループ単位での集まりは有ったものの、きちんとした形で同期会となったのは、昭和四十一年。その年から今日迄、一度も欠ける事なく同期で集って居ります。

気がつけば、五十回を数えます。年が明けると「今年はどうするの？」と云う声が囁やかれ、今年も頑張つて皆様、集まりましょう、と云う結果となりました。

私自身、末期高齢者と自認して居りますが五体や不都合ながら、回りの人々と仲良く幸せに、日々満足に過して居ります。



六月六日に变りはありません。五月に入りましたら、各々出席の御予定をとり合つて頂きたいと思ひます。世話人連絡先

# WEB版非公開

※連絡は、FAXかハガキでお願いします。聞き違い、思い違いが偶にありますが、のでよろしく、御協力を、お願いします。

## 十二月八日の昭和シングル会

高全4期 木村 泰子

私達四期会の集まりは六十周年で終り、自由参加だった昭和シングル会に統一されました。

この会は早世された鈴鹿常雄さんの遺志を継がれた松田祝三さんが、毎年八月十五日と十二月八日に開催して下さっています。

「昭和シングル会って？」と聞かれる事があります。私達は昭和八・九年生まれ、小学二年生から国民学校と改称され、集団疎開も多くが経験し、終戦の翌春、旧制度最後の中学校、女学校に入学し、学制改革の渦中三年生の時、豊中高女、豊中市立高女、豊中中学、池田中学、が合併し、大阪府立桜塚高等学校・同併設中学校として、男女共学が始まりました。

戦中戦後の社会情勢に翻弄され乍ら育つた過ぎし日々は、生涯強く心に残っています。皆夫々に高齢になり、盛夏の体調を配慮されて、今年の八月十五日の



会は六月に変更され、定期会場だった宝塚ホテルは、東京他遠方から来て下さる方々の足の便を考慮され、梅田新阪急ホテルに定着するようです。又、バイキング形式から椅子席で松花堂弁当にと、その後和洋食の中華スタイルにと参加者の意向を参考に細かい心配りもうれしい会になっています。

今回は松田さんが、連絡可能な二百数十名に案内状を発送して下さいました。因みに出席者は男性十八名、女性二十七名でした。傘寿を過ぎますと出席者も少しつ減ります。ご自身の不調やご家族のお世話が大変でとの返信が少なくなかったと伺いました。そんな中、中村利治さん、横道満子さん、和田一洋さんが卒業後初めて参加され、出席者全員にとって、明るく嬉しい出来事となりました。

いつも食事の合間に生演奏まで聴かせて頂きますが、今回はハワイアンソングを楽しみました。のんびりと平和なメロディーに癒されたひと時でしたが、折しも戦争から七十四年目の十二月八日、奇しくも開戦の日も月曜日だったと放送されていました。

七十四年前のこの朝、私は登校途中に、街頭から軍艦マーチと共に「本日八日未明、日米両国は戦争状態に入れり」と高々に流れてきた臨時ニュースの衝撃は今も忘れ得ません。長い平和な時代も生き、元気でこの会に出席でき、皆様と話し合える俸せは感謝以外に表現出来ません。

## 卒業60周年記念パーティー

高全6期 金原 正展

日時 平成26年11月10日(月) 会場 楠公会館(神戸・湊川神社内)

私達6期生は、これまで何回か節目の年に記念大会を、開催してきましたが、今回も、卒業60周年と傘寿記念を併せて、前回来席料理が好評だった「楠公会館」で開催しました。前回より5年経ちましたが、高校時代の「男の子・女の子」そのままの元気な仲間50名が集いました。

会は、北さんの司会の下で、物故者(友人・恩師)への黙祷、次いで世話人を代表して金原が出席者への感謝と「青春の時代に返り、今日の一刻を楽しんでください」と挨拶。先ずはアトラクション、笑福亭仁勇さん(高29期尚和会副会長)による落語一席を楽しんだ後、桜塚らしく下村(浅田)さんの挨拶と音頭で乾杯、食事と懇談に入りました。

クラス別に分かれた各テーブルも、会館心尽しの料理を味わい、アルコールもすすむと、あちこちと移動



する人達で、会は大いに盛り上っていきます。初参加者の紹介や二井内君の詩吟の披露などもあり、楽しい時間が過ぎ行き会も終わり近くになり全員外へ出て、好天に恵まれた境内で神社本殿を背景にしての記念撮影。再び室内に戻り、奥野君の閉会の言葉で、盛会の裡に無事お開きとなりました。

今回も、写真撮影は吉田(益)君のお世話になりました。また、尚和会より助成金を頂き有難うございました。

## 高11期55周年

記念同期会のご報告

高全11期 吉田 和久



母校桜塚高校を昭和34年(1959年)に卒業して、はや55年の年月が過ぎました。振り返って見ますと、つい先日学び舎に別れを告げたように思いますが、月日の経つのは早いもので、もう、55年も経っているのかというのが今の実感です。昨年の6月28日に梅雨の晴れ間に、「新大阪江坂東急インホテル」において、卒

業55周年記念同期会を開催いたしました。全国各地から、懐かしい顔ぶれが集まりました。今回は、総勢37名という淋しい会合になりましたが、丁度両親の介護とか、ご主人のお世話で、止む無く欠席された方が多数見受けられました。また、同期生の訃報も多く寄せられました。

今回は、少人数でしたので、昔の記憶を手繰り寄せながら、懐かしい思い出話を語りながら、あっという間に既定の時間が過ぎ去ってしまいました。みな後ろ髪を引かれる思いで会場を後にしました。今回は尚和会から5万円の助成金を頂きましたので、会費が少なくて済みました。今回は2017年11月頃の予定ですが、世話役の交代がありまして松島 清氏、伊藤 宏利氏、川島 淑子氏が就任しました。皆様もお体にはくれぐれもご自愛の上、次回も元気なお姿で再会できることを楽しみにしております。

### 桜塚高校十六期卒五十周年 記念同期会を終えて

高全16期 代表幹事 神田 正夫  
十六期卒五十年周年記念と銘を打って同期会を、ホテルグランビア大阪にて平成二十六年十一月二十二日(土)午後一時より午後六時(二次会含む)開催致しました所、恩師水田先生の出席を賜り、生徒は八十五名と、東は関東地区、西は九州地区と遠方より多数の出席を頂きましたこと、誠にありがとうございました。久しぶりの再会等で、昔話に花が咲き、楽しく懐かしいひと時をすごさされている皆様の笑顔を拝見し、お世話致しました。次回は五年後となり皆様におかれましては歳を重ねることとなり、どうかご自愛され、元気な顔を、見せて頂けることを楽しみにしております。紙面をかりまして、十六期生の皆様に厚く御礼申し上げます。



### 高全31期同期会報告

高全31期 中村 唯光  
平成二十七年二月二十八日(土)に淀川と梅田の高層ビル群のサンセットとラブホテルの夜景がきれいな十三のプラザオーサカ19階スカイラウンジにて31期の同期会を開催いたしました。

諸般の事情で開催が決まらず、何とか年度内にやらねばということになり、初参加で幹事のお手伝いというよりは、年明けからの準備になり、案内状の送付が1月中旬で開催が2月末となりスケジュール調整が難しく欠席された方には大変申し訳なく思っております。また、恩師の方々にもご連絡を差し上げたのですがやはり急な開催ということでスケジュールが合わず出席者なしということになり

とつても残念に思っております。それでも約75名ほどが参加し楽しいひと時を過ごすことができました。

1次会ではできるだけ多くの人とお話をしてもらおうとあえて何の趣向もなく乾杯の後にはひたすら歓談。最後にクラスごとの撮影会と全員での記念撮影で終了。2次会は私の店で料理は一切無しで全員無料、これまた話すだけ。

実行委員の今回の目的は、まずは年度内の開催、次に連絡先を増やす。次回の連絡経費削減等のためにメールアドレスをヒアリング。当日の模様をフェイスブックで閲覧可能にする。

何とか年度内に開催できて連絡先もそれなりに増え慣れないフェイスブックも立ち上げ記念に残るものがほしいとのことでネームプレートを缶バッジで制作。

次回は2019年早めに計画してお知らせさせていただきます。また会いましょう。

### 高校36期卒業30周年同窓会

高全36期 村上佳津子  
「卒業30年やし、尚和会から助成金出るし、やらなあかんやん! (↑使命感)」...というので、平成26年9月15日、豊中ホテルアイボリーで、高校全日制36期卒業30周年記念同窓会をおこないました。

招集通知から開催まで約1か月しかなかったにもかかわらず(何故そんな羽目になったかは聞かないでください)、当日は46名の同窓生の出席をいただき、にぎにぎしい時間を過ごしました。

卒業から30年、といいますが、入学したときの3倍強の歳になつてる勘定。「もうおばあちゃんになつてしもてん」と孫自慢な人から「子供がやっ」と幼稚園年長さんやの「なお母さんまで、もう人生いろいろでバラバラです。歳月は、流行もうつろわせ、ヘアスタイルもバラバラにしてしまい、次回

# ホテル プラザオーサカ パーティープラン

20名様より承ります

**Pプラン**  
**8,000円**  
洋ブッフェ/卓上盛り/コース  
折衷料理/和会席/中華卓上盛

**Aプラン**  
**7,000円**  
洋ブッフェ/卓上盛り/コース  
折衷料理/和会席/中華卓上盛

**Bプラン**  
**6,000円**  
洋ブッフェ/卓上盛り  
和会席/中華卓上盛

**Cプラン**  
**5,000円**  
洋ブッフェ/卓上盛り  
和会席/中華卓上盛

●お一人様あたりの税別料金です。

**全プランフリードリンク付**  
ビール、ウィスキー、焼酎、ワイン、ウーロン茶、ノンアルコールビール、オレンジジュース

**お得な二次会プラン** 120分セット料金  
お一人様 120分  
**3,000円** (税別)

飲み放題

- ビール・ウィスキー・ワイン(赤・白)
- 焼酎(麦・芋)
- カクテル(10種)
- オレンジジュース
- ウーロン茶

おつまみ(乾き物)  
カラオケ約15,000曲から選べる




洋宴会場(雅)

プッフェ料理イメージ



三井住友銀行 北野駅前支店  
伊予銀行  
三井生命ビル  
プラザオーサカ

HOTEL 阪急十三駅より徒歩5分  
**プラザオーサカ** 客室数 853室  
**TEL 06-6303-1038**  
<http://plazaosaka.com>  
〒532-0025 大阪市淀川区新北野1丁目9番15号

以降の申し送り事項として、記念写真撮影の際は、天然レフ板を持った人はばらけて配置するようにしてください。(写真参照)

準備期間はたとえあつたはずなのですが、準備不足の感否めませぬ。当日の趣向は、前日がちょうど母校の文化祭だったのでその様子を撮った写真を会場の一角に展示したのが一つ。もう一つは、今は見られなくなりましたが、私たちが現役時代の制服を着たJKを会場に展示(?)したところ、これは特に男性諸君の視線を集めておりました。実は「昔のJKたち」が、着てみようとしてトライしたけど脇のファスナーが閉まらなかった、あたりが、やはり卒業30年の重みでしょう。

費用がかつたのでアトラクションは出席者でくじ引きで順番に前に出て、卒業してからこれまでの近況報告等、というトークの時間を設けました。話し終わったら、次に喋る人のくじを引く。いつ、自分の順番が回ってくるのかわからないのは、ちょっと意地悪だったかもしれませんが。90秒×70人くらいまでならこれでほかのアトラクションなしで引つ張れるかも、ですね。

当日の記念品はみんなで急遽寄せ書



きりコピーして配布。それと後日、記念写真と収支報告等を発送いたしました。

1次会の後はオプショナルツアー「懐かしの母校見学(ただし徒歩で)」。卒業してから一回も行ってへんわー、な人もあつたようで、これは会場をアイボリーさんにして正解でした。

次回以降も考えて、服装コード。「平服で」です。襪履は着ても心は錦、なのです。幹事もジーパンでした。↑それでいいのか? ↑ええねん。尚和会の総会もたいがいジーパンでしか出席してへんし!

今後、36期の同窓会を定期的にやっていこうと思います。つきましては「36期同窓会部」というのを作りました。部長は不肖・村上(真鍋)が60歳になるくらいまではやらせていただこうかと思ひます。部員随時募集中。(特に記録取って、こういう報告書を書いてくれる人募集)高校3期の大先輩方がされていたように、大阪と東京で1年おきに交互に毎年開催する、としたい。ただ、東京でやるときは東京支部総会のある年と重ならないようにした方がええんやないかと、細かい詰めはまだ追い追ひ。

それで、今年の「知命記念同窓会」は9月22日に豊中ホテルアイボリーさんの場所を取りました。該当する人はスケジュール帳に草色のペンで書かせてもらわんとあきまへんで!!

どうでもいいことですが、なんで幹事が一番遠方から来てたのでしょう。次に遠い人は、愛知県でした。東京での開催は、なるべく近いうちに都合つけてやりましょう。関東在住の同窓会部員も募集です。よろしく!

**3年ぶりの同窓会を開催して**  
平成26年6月8日

桜塚高校 高定9期同窓会  
幹事 中本 賢一  
清水 充  
中川 弘士

26年5月28日、日帰り同窓会は、



11名の参加を得て、五月晴れに恵まれて、大阪発丹波路快速で出発。車窓から見る新緑の素晴らしさはちょっとした旅行気分も味わいながら、久しぶりに会う元気な姿に会話も弾み約1時間乗車の後、草野駅で下車。送迎バスで今日の会場である「こんだ薬師温泉・ぬくもりの郷」に着。とりもなおさず温泉に。

丹波岩石風呂、丹波焼陶板風呂や広々とした露天風呂に浸り、のんびりと、のどかに広がる空と山が心も体もほぐしてくれました。

今回は11名の参加でしたが、気心の知った仲間同士。丹波篠山の酒のうまさもあつて、おしゃべりも尽きず、そこへ泉州名物「水ナスの漬物」の差し入れもあり、和やかな最高の雰囲気でした。予定時間1時間もオーバー。

来年もこの時期に、同窓会を開催し元気で再会する事を約し帰路につきました。

尚和会から同期会援助金を頂きました。有効に使用させて頂きます。有難うございました。

登録商標

遊佐未森

新発売

創業明治九年 株式会社 **うどんや風一夜薬本舗**

(元 末廣勝風堂 大阪島之内 玉屋町)

末廣(青木)茂 高校29期

TEL 0120-12-1893  
URL <http://www.kazeichiyakusuri.co.jp>

# 桜塚高校同窓会落語会のご案内

**花園治 襲名記念**  
**ああサクラヅカ** 大阪府立桜塚高校 同窓会落語会

2015年 5月29日(金)  
 開演/18:30  
 開場/18:00

桂 春之輔 (高全19期生)  
 笑福亭 仁勇 (高全29期生)  
 桂 花園治 (蝶六) (高全33期生)  
 桂 雀五郎 (高全48期生)  
 桂 二葉 (母が桜塚卒)  
 マジック 昭和のマジシャン 真田 豊実 (高全30期生)  
 三味線 富永 典子 (高全37期生)

天満天神 繁昌亭  
 地下鉄谷町線/堺筋線 「南森町」駅4B出口  
 JR東西線「大阪天満宮」 駅3番出口各徒歩3分

全席指定

入場料:  
 前売り 2500円 (当日 3000円)  
 ○チケットぴあ TEL.0570-02-9999 Pコード 597-700 (ぴあ店頭、サークルKサンクス、セブンイレブン、pia.jp/t)  
 ○繁昌亭チケット窓口(11:00~20:00) <<お問い合わせ>>天満天神繁昌亭 TEL.06-6352-4874

チラシデザイン:67期生 古家さくら

現在上方落語協会には、桜塚高校卒業生で高全19期生の協会幹事長の桂春之輔師匠を筆頭に4名の落語家が会員です。同一学校卒業生数としてはトップです。

去る4月に高全33期生の桂 蝶六師匠が桂 花園治を襲名。この襲名を記念して『ああサクラヅカ』と題して落語会が下記日時で開催されます。是非、皆様お誘い合わせの上御来場下さい。

会場 天満天神繁昌亭  
 Tel 06-6352-4874

日時 平成27年5月29日(金)

開演 18:30  
 会場 18:00

入場料 前売り2,500円 (当日3,000円)

※尚和会では入場券100枚を購入しました。購入希望者は来る5月17日(日)開催の総会にご出席いただければ、会場にて一枚1,000円で販売いたします。



## 葬 祭 式 場

加納会館 本館 (リニューアルしました)



豊中市中桜塚2-12-2 (豊中市役所筋向い、国道176号線沿)

加納会館ファミリエ



豊中市中桜塚5-15-3 (豊中市役所交差点から東へ500m)

加納会館 今宮



箕面市今宮3-2-13 (今宮交差点東へすぐ、国道171号線沿)

会員募集

レリーフクラブ...

万一の時に遺族のご負担を少しでも軽くするためのシステムです  
詳しくはフリーダイヤルへコール

株式会社 加納 ☎ 0120-096-940  
代表取締役 上村 学 (高全17期)

## 同期会開催予告

### 昭和シングル会（高全4期）

平成27年7月14日（火曜日）を予定しております。  
 場所は新阪急ホテル（梅田）です。  
 梅雨明けの頃と思われませんが、前もってご予約いただければ幸いです。  
 5月下旬に再度ご案内いたします。  
 世話役 松田 祝三

## 12期会 集い、語り、創ろう明日

12期生の皆様 お元気ですか。今年は戦後70年、その節目に私たちは桜塚高校卒業後55年を迎えました。そこで今までの健闘を祝し、活力ある前途を育む同期会を11月19日（木）に開催します。その企画のため幹事がホテルアイボリーに集結した折、Sさんが「僕は満州生まれ、よく無事に引き揚げられたものだよ。」と切り出された。私たちの子供の頃は戦争があった。そういえば、九州の修学旅行の帰りの夜汽車の4人掛けの席に6人が座り、雑談のなかで、Kさんが、私は残留孤児になるところだったのよ。もう一人のKさんがある家族が、朝鮮から逃避行の折に足手まといになっている足の悪いお姉さんをおいていこうかと両親が話しているのを聞いた幼い弟が僕がおんぶするからと言ったので、一緒に帰ることができたと話されたのを思い出した。この70年間戦死者を出さずにきた。この平和が永久に続いていくことを祈念し、終活に入った私たちにさらなるエネルギーを導く会にしたいと幹事一同念じております。

12期会は4年前から希望者による観光や飲食を楽しむ「くるむ会」とゴルフを楽しむ「チェリー会」を開いている。昨年度チェリー会は吉川のロイヤルクラブで4組が熱戦を繰り広げた。くるむ会は春、神戸三宮界限、秋は黒田官兵衛ゆかりの姫路へ出かけた。この6月にも京都洛南・宇治の周遊を企画している。参加ご希望の方は、連絡下さい。

体調に不安をかかえる人・計報の数も増える今日この頃です。まずは健康に御留意頂き、同期会に万障お繰り合わせのうえ御参集頂きたいものです。

### 12期生 同期会開催御案内

**日 時** 2015年（平成27年）11月19日（木）

午後12時 開会

15時 閉会

**場 所** ホテルグランヴィア大阪 20階 名庭の間  
 大丸梅田店西隣

**会 費** 8,000円

**代表幹事** 斎藤嘉明 TEL [REDACTED]

9月半ばに葉書をさしあげます。必ず御返信下さい。

## 32期生同期同窓会のお知らせ

旧交を温め、当時の話に花を咲かせ懐かしむべく、5年ぶりとなる同窓会を開催することとなりました。当日は恩師の方々もお招きします。心ゆくまで思い出にひたり、楽しみましょう。  
 はがきでの案内は、春ごろになる予定です。

記

**日 時** 平成27年9月20日（日曜日） 11:30～14:30  
 （後、希望者による2次会も開催）

**場 所** ホテルグランヴィア大阪  
 大阪市北区梅田3丁目1番1号  
 ☎ 06-6344-1235（代）

**会 費** 8,000円

**幹 事** 田尻 肇 [REDACTED]  
 永田 由美 [REDACTED]

住所が変わった方、また、転居した友人の連絡先がわかる方がおられましたら、幹事にお知らせください。

## 高校36期 知命記念同窓会 予告

みなさん。…もう、自分の天命を、知ることはできましたか？

「不惑」はとっくに越え、「知命」も本来数え歳ですから、しっかりしていないといけないはず。織田信長だったら「敦盛」を唄って踊って、炎の中に消えてないといけない年回りですが、いかんせん我々の多くは平凡人。ある意味、ヨカッタ、ヨカッタ。

どれだけ人間ができたか／まだできてないか、を確認しあうべく、知命記念同窓会をします。可能な限り恩師の先生方にも連絡をつけて…とは思っていますが、先生方は私たちより年が上。いろんな意味でがんばりましょう。連絡頼める人はお願いしますね。

とりあえずの予告は、下記の通りです。（これから5月に大阪行って会場ともう少し細かい打ち合わせしてきます。）

**日時** 平成27年9月22日（祝）

受付 12時半（ごろ）

開会 13時（ごろ）

閉会 15時（くらい）

**場所** 豊中ホテルアイボリー

**会費** 7,000円（基本料金・予定）

**同窓会部総務担当** 村上佳津子（旧姓・真鍋）

電 話： [REDACTED]

メー ル： [REDACTED]

投稿記事

1500回直木賞受賞作家・

朝井まかてさんの『招待状』

文藝春秋月刊6号 (H26)

原田正憲という書家があった。私の叔父である。

二十代で日展に入選したが既成の權威を否定して、1964年、江口草玄・井上有一氏の墨人会に参加した。その十年後、これも退会。以来、その身をどこにも置かず属さず、在野で書き続けた。自分のしていることは果たして「書」であるのか、どこを指せばいいのか、問うべき仲間もいない。自らをそんな境地に追い込んだのだ。厳しさと寂寥、そして清々しさを道づれの、孤であった。

原田正憲は正しく言えば夫の叔父なので、血のつながりはない。けれど実の姪のように可愛がってもらった。叔父の一家と野山に遊び、土ひねりを指南してもらい、猪鍋を振る舞われた。

叔父からの手紙や葉書が届くと、私たち夫婦はいつも四苦八苦した。判読不能な文字が一行のうち何カ所も出てくるからだ。夫は幼い頃からその字に接しているにもかかわらず解読を早々にあきらめ、「これ、ちゃんと届くのが凄いなあ」と、宛名を判読しおせた郵便屋さんへ感心した。

叔父の書がいかなるものであったのかをここで表現するのは難しいのだけれど、原田正憲という人そのものであったことは確かである。

生まれてきたこの世をじっくりと味わい、誰かが無駄だと切り捨てたものを拾い上げ、見つめる。それが面白いと感ずると、目尻を下げて微笑んだ。法事場でふいに滑稽なことを言い出す俗気も私には好もしく映って、今もそれを思い出すたび胸の裡が明るくなる。

家族に一度も声を荒げたことのない叔父には、ぎざりと鋭角に尖った

部分もあった。

小器用に書いたものに溜息を吐き、誰かの模倣に片眉を蹙め、自分を飾った賢げな物言いには無言で返した。そして理不尽だと思ふ事には真っ向から立ち向かった。そんな時、必ず独りだった。

高校の書道教育の場では、手本を与えない主義を貫いた。誰かが用意したものに従うな、若い命のままに生き生きと書けばこそ、いい字。なのだと言き、生徒らと共に墨にまみれた。

叔父の鉢が癌に蝕まれていることがわかったのは、四年前のこと。幾度も手術を経た後もあゆる抗癌剤に挑戦し、壮絶な副作用にもね音を上げなかった。

正直に申せば、私はその姿に微かな違和感を抱いていた。勝手に、一体禅師のごとく捉えていからだ。世の中は起きて稼いで寝て食って。後は死ぬのを待つばかりなり。なのに叔父は死に抗い続ける。その理由が、私にはどうしても掴めなかった。

後に叔母と話しをしていて、胸を衝かれた。叔父は妻をこの世に置き去りにすることが忍びなかったのだ。自らを孤に追い込むことはしても、妻を独りにすることに断固として抵抗した。実に叔父らしい生きようだったと、今は思う。

私が直木賞を受賞した時、叔父は痛み止めの絶え間ない服用で臃腫としていたにもかかわらず、総身を輝かせんばかりに喜んでくれた。もはや自宅で最後を迎えんとする時期に入っていたが、私は贈呈式と受賞パーティーへの招待状を出した。招待状は叔父の棺に納められた。

叔父は自らの作品集「孤 原田正憲の書」の刊行をも待たずに逝ってしまったけれど、巻頭の文章にこんな一節がある。

筆を置いたその時、もつと書きたい、もつと書きたいと思いました。こんなに書きたいと思ったことは、未だかつてありません。

原田正憲先生への追悼文

高全27期 堤 公宏

(北海道帯広市在住)

原田先生の書道の授業は小学校などで経験してきたいわゆる「習字」とは全く違い、すごく新鮮で楽しかった記憶が残っています。お手本などは無く、とにかく自由にのびのびと字を書き、思いのままに色々な作品を作るといふ授業はとて楽しく、また試験が無いというのが勉強嫌いの私にとっては何よりも魅力的でした。楽しい授業で作った作品の一部は、卒業して40年経った今でも大切に残っています。

私は先生に担任を受け持っていました。いたことは無く、書道の授業でお世話になっただけでしたが、先生の事が大好きで在学中は書道教室の横にあった「愚禿庵」という部屋によく出入りさせていたっていました。

高校卒業後、私は北海道の酪農学園大学に進学し、大阪を離れたのですが、先生とは時々連絡を取らせていただいていた。そして、卒業してから13年目に大阪で結婚式をした際には先生にご出席いただき、スピーチまでしていただきました。また、結婚式の数日前には、額に入った書道作品をお祝いとしてわざわざ自宅まで届けてくださり、大変感激しました。その作品は今でも我が家の床の間に飾らせていただいています。

結婚後は年賀状のやりとり程度の連絡でしたが、50歳を過ぎた頃に、ちよつとしたきっかけで篆刻と書道を趣味で始めるようになり、その事を先生にお伝えしたところ、先生はたいそう喜んでくださいました。始めたきっかけは、当時中学生の娘が学校で作った篆刻作品を目にして、先生の授業で篆刻印を作ったときの楽しさを思い出した事からでした。それ以降は時々私の駄作の画像をメールで先生にお送りするようになり、先生からも時々作品の画像や展覧会の案内を送って頂くようになりました。

平成26年の春、27期生同期会の案内

が届いた時、先生にお会いできるかもしれないと思いつくしながら出席のハガキを出しました。ところがその少しあとで遺作展「孤 原田正憲の書」展の案内を受け取り、先生が亡くなられたことを知りました。

今、私の手元には原田先生の作品集「孤 原田正憲の書」があります。時々開いては先生のこれまでの作品をながめ、また作品集の中に書かれていた先生の言葉を読み、お手本を書かない書道の授業を通して先生が伝えて下さろうとしていた事を改めて考え直しています。本当は先生とお会いしても書道についての色々な話を聞きたかったのですが、それはかなわぬ夢となってしまうと残念です。しかし先生の事を思い出しながらこれからも趣味で書道と篆刻を続けるつもりです。原田先生どうもありがとうございました。

原田正憲先生への追悼文

高全27期・佐久間幸一

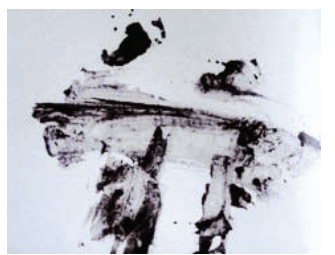
(千葉原在住)

「原田正憲の書」が自宅に届いた。今年1月3日に書を書いておられる先生の写真を見て、面影がありとても懐かしい。そして1か月後の2月8日享年80歳、永眠。私にとっては、先生とは高校卒業後お会いすることができず、この書本による大変残念な再会であった。

原田先生は、芸術活動の原点は「創造」だと、他に迎合することなく書を通じて「孤」を追究され続けた。

私は、原田先生から「習字」でなく、創造としての「書道」を学んだ。手本を真似る必要はない。きれいに書く必要はない。(もともと字が汚い私にとっては願ってもない教えだ)「花」という一字を書くにしても、元気な花、しとやかな花、小さな可愛い花：を書きよって表現できることを知った。読みにくい「書」のなかにも深い味わいがある。不思議と「心」の思いが書に現れるのだ。

(原田正憲の書より「花」)



我々、第27期生の原田先生の担任3年10組は、「書道」「音楽」「美術」の、ごった煮クラス。こんな個性豊かな味のある輩(やからも)なかなかないだろう。まさしく先生含め原田一門、一家であった。(騒動の多い分、大変お世話になってしまったのだが。)

ふと、今になって思うのである。この原田先生の「書道の教え」が、「人生の教え」ではないかと。書の字のようにひとり、ひとりの個性があつて当たりまえ。「この個性を大事にして、おもしろい今ある時間を生きよ！創造的な人生を生きよ！」と。原田先生から、教えを乞うた我が同輩、先輩、後輩たち。

原田先生の生き方を糧に、我々らしく人生を生きようではないか。原田先生は、きつと今頃でつかい筆をもつて、天空で気合をいれて書いておられるぞ。

(原田正憲の書より「夢」)



我々にとって大好きな、そして人生の恩師。原田正憲先生。ありがとうございます。心よりご冥福をお祈りいたします。

『山岳部全盛期の思い出』

高全17期 関野 直木 (旧姓 渡辺)

第115回目のOB会はH26年6月1日(日)、阪急岡町駅へ集合し、『母校を訪ねる』という企画で集まったのはなんと19名となりました。初夏の快



母校 恵風園で 2014.6.1. 暑かったのでパラソルが効果あり

晴の気温が上がる中、岡町駅へ原田神社(桜塚の地名の由来の碑)へ岡町商店街へ母校内散策(当日は近日開催される体育祭の応援練習があり校庭が開放されていた。我々は事前に教頭先生に承諾済み)へ大塚古墳へ服部緑地公園と炎天下の散策は十分すぎる行程でした。 50年ぶりの母校は昔の面影無く、校庭の一部に恵風園の名残り、敷地の一部に桜文様の打ち抜き銀杏の木等、申し訳程度に残っていました。制服も当然今風のデザインのチェックのスカートに白いブラウスとなっており昔の紺色のワンピースタイプが懐かしき思い出されました。OB・OGが一同となつて校内を散策している時、すれ違う生徒さん達が礼儀正しく『こんにちは』と挨拶してくれて、さすが『府立桜塚高校』と感心すると共に、事前に教頭先生が『日曜日に古い卒業生が

団体で来るから挨拶するように』と指示があったのではないかと疑う輩もおりました。散策後は梅田に出て行きつけの『ミュンヘン』で乾杯となり115回目のOB会は大いに盛り上がり終宴となりました。 さて、前置きはこれくらいにして本題に入ります。

以前、母親から渡された小学校から大学までの成績表一式の封筒の中に手帳が紛れ込んでおり開けてみると山岳部時代の山行記録でした。全ての部活の行動記録ではないのですが、新人歓迎会、ボッカ訓練(剣尾山・東六甲山縦走)、夏山合宿(昭和38(1963)年・昭和39(1964)年)、六甲山縦走の記録等が残されておりました。まさに50年以上前に青春を打ち込んだ部活の山行記録で当時先輩にしごかれた様子がはつきりと思ひ出されました。部報30周年記念号の記事で顧問だった内田先生の回顧録には『頑張り抜いた17期生8人の結束が新しい山岳部の伝統を築き上げた』とお褒めの言葉をいただいております。その後、我々17期生から同様にしごきを受けた18期・19期の後輩たちが桜塚高校山岳部の全盛期を継続させたのでした。山岳部の発展にご尽力いただいた顧問の後藤先生(故人)、内田先生、相澤先生、牧先生、佐藤先生(故人)そして未熟な我々をご指導くださった諸先輩の方々改めてこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

当時の記録(原文のまま) 1963(昭和38)年 7/31(8/6) 夏山合宿(薬師岳―雲の平―槍ヶ岳縦走)

7月31日 PM6:30 大阪駅集合 みんな荷物(重さを比べあう。永井の一番重い。村上のも相当あるらしい。あとは大体同じである。大阪駅は登山客でいっぱいである。みんな無事座れた。この列車は各駅停車であった。ほとんどが登山客であった。明日はバテるといけないからもう寝よう。

8月1日 雨のち晴れ 富山へ着いた。ここから小さな電車で

小見まで行った。着いた時、雨がひどく降っていた。出発から調子が悪いと思つたがしばらくして止んだ。バスに乗り有峰を経て折立まで行った。OB大津さん(11期)が迎えに来てくれた。重い荷物を持って太郎小屋横のテント地へ向かった。雨が降った後なので道は悪く全員がどろどろになった。この際に村上と内海がばててしまった。途中で松浦先輩(16期)が迎えに来ていた。先ほどの大津さんと松浦さんは先発隊である。やっとの思いでテント地へ着いた。肩の骨がおかしくなつてしまった。ここから薬師岳山頂まではものすごくある。

8月2日 晴れ 朝、テント地へB班(小屋泊まり)のグループがやってきた。ガイドもいる。合流して薬師岳山頂上へ向かう。俺達はサブザックで行く。予定より遅れて頂上に着いた。ここでB班と別れた。このグループはスゴ小屋を経て針の木峠を越えて大町に出る。俺達は駆け足でテント地へ下りた。テントを撤収してすぐ出発する。荷が肩に食い込む。昨日のあとが非常に痛くてこたえる。太郎小屋の横を通ってカベツケ原に出る。下りは足が笑つて泣けてきた。それでもちくしょうと思つてついて行った。無事カベツケ原に着く。 \*愛知大生遺体発見された位置を知った。まるつきり反対側であった。

※キジ山言葉で「排便」の行為、及び排泄物そのものを指す。 8月4日 晴れ 祖父岳をまわつて(巻き道)三保蓮華小屋へ着いた。休憩してすぐ出発、そして双六小屋へ着いた。振り返つてみるとはるかかなたに薬師が見える。薬師から見た時あんなに小さく見えていた槍がすぐ手前にある。明日はあの槍の穂先の上に立つのだ。しかし歩けば5時間はかかるだろう。テントを張つてからすごい雨が降つた。しかしすぐ止んだ。明日は2・30起床。早く寝よう。

8月5日 今日、双六から槍を経て横尾まで来た。大きな荷物を持っている僕たちにとっては大変な強行軍であった。足が自分のものでないような気がする。天狗の池でキャンプするはずが予定を変更して横尾へ来たのだ。天狗原でキャンプしていると明日が大変な道のりである。明日4人が酒沢へ入るのでお別れパーティをした。永井と二人でビールを飲み(時効)みかんの缶詰を食べベクッキーを食べた。そして元気で行くよう励ましてやった。手紙を出したいが出すヒマがない。 8月6日 無事上高地へ着いた。今日大阪へ帰る者は木曾福島行きバスで行った。僕はいつのバスかわからないけど臨時の島々行きに乗つて島々まで行きそこから松本まで出ようと思う。大町に着くのは7時以降になるだろう。今日酒沢へ入つて3日間の定置合宿する4人の男はしんどい思いをして登っていることだろう。一人で上高地に居ることは心細い。穂高も雲で隠れて見えない。 今日徳沢で近畿大学の人が会った。新保さんはやめたそう。明神池にも行った。入場料10円とられた。大変汚くて10円捨てたようなものだ。そこに嘉門次小屋があった。何か住みたいような気がした。 当時の資料から 参加者・17期生 内海、野瀬、村上、砂川、山中、松浦、永井、渡辺

18期生 井沢、枝、上林、大橋、小馬 付添教員 後藤教諭、相澤教諭 OB 大津(山本)、松浦、松島、秀平

1963(昭和38)年 10月17日 六甲山全山縦走 これは今では神戸市主催で走つて完走するというイベントになつていていうことですが、当時はそんなものはありませんでした。全行程54km須磨浦公園から阪急宝塚駅まで歩き抜くという、しかも山岳部在部中に気の合った仲間と各自の好きな日程で必ずやりなさいという必須科目でした。細かいタイムは省きますが

AM6:00 須磨浦公園発(菊水山へ摩耶山へ六甲山へ船坂峠へPM9:50 宝塚着) その時のタイムです。15時間50分掛かっています。この時、東六甲に入つてから六甲山ドライブウェイを走つて来た車から『乗せてあげましょうか』と親切に声を掛けられたのを今でも覚えております。宝塚の駅で万歳三唱して解散しました。この時のメンバーは17期・内海(故人)、永井、渡辺の3名です。

こうして振り返つてみれば3年間は苦しい思いばかりではあったと思ひますが、同じ釜の飯を食べた仲間は私にとって永遠に切れることがない大切な絆となつております。

最近、あの時の反動ではありませんが、のんびりと一人で山歩きを楽しんでおります。当時は1時間歩いて10分休憩という歩き方でしたから。見晴らしの良いところやおいしそうな水が湧き出ている所であっても素通りで通過でした。先頭のリーダーを恨んだものです。今はその恨みを取り戻すべくマイペースで山と共に残りの人生をゆつくり登つて行きたいと思つております。



### 『尚和会』の原点に触れた

山岳部OB会

高全3期 高谷 善雄

山岳部OB会は、原則、年4回集まり春・秋の2回は軽い山歩き、残り2回は年末と「建国記念の日」前後の旧正月ごろとしています。その春・秋の山歩きも最近は墮落(?)してタウンウォッチングもしています。そんななか、2014(平成26)年6月1日(日)、第115回例会として『母校訪問』を組み込んで実施しました。母校訪問といっても休日のことだから外側からすっきり変わった母校を眺めるだけだろうとあまり期待していなかったところ、当日は近づいている体育大会に向けての各クラスの応援練習があるので校門が開いているという朗報!このことを知っての母校訪問なら企画した事務局の大金屋。筆者にとつては孫年代の現役生徒諸君の現状の一端を見せてもらいましたが、その応援練習は女子生徒がリーダーになるとうまくいくとの説明をきいて、さすが才媛校だ!と納得。恵風園の一角にある「尚和」の石碑をみつけて、和を尚ぶわが同窓会の精神を(ひと)くさり講釈する一幕もあり。1979(昭和54)年に校舎改築工事が終了して、在学中とは校舎やグラウンドの位置や形がすっかり変わっているのは時代の流れで仕方ないとしても、母校や「尚和」が健在であり、受験率の高さを含めての母校の評価が予想以上のものであることによるこびと誇りを憶えました。特に、旧校舎の南にあった大木(イチヨウ)だったと記憶しているが……が、昔のままで在ったということに強い感慨を覚えました。男女共学という教育歴史上の大変革期を経験し、全人生のうち最もイキのよい3年間の青春を燃焼させた私たちをじっと見守ってくれていた樹なのですから。

当日は大阪の最高気温が32.9℃を記録する真夏並みの暑さでしたが、思いがけない母校訪問という成果に、何かいい感じのムードに包まれて、心

豊かに服部緑地へ向けての歩みをつづけました。  
※当日の参加者は18人、うち1人は東京からサプライズ!  
『酔って極楽、話して天国』  
酒の最上のアテは会話だということ



熱弁をふるう当日の発言者

OB会第118回例会は、新しい年の始まりとして例年どおり2月11日(建国記念の日)に集まりました。昨年末に集まってから僅か50日しか経っていないのにまた集まった——が実感ですが、悪い気はしません(むしろ嬉しい気分です)。目的地へ行くまでの車中での少し浮き浮きした会話、野山を歩きながらのそれぞれのおしゃべり、昼食時の食事をしながらのピックアップ気分の言葉のやりとり。そう!四方山話です。——すべて「山」という共通項を持っている者がキャッチボールする会話の楽しさです。そして室内でのOB会(野山へ出た後の飲み会も含めて)は、100%酒の最上のアテは会話に在りに落ち着きます。ここから各自が思い思いの『思い』を持ち帰り、次回の集まりへの期待を持つこととなります。その会話の味は、よくいえば千差万別、悪くいえば、とりとめもないに尽きますが、研究会でも講演会でも研修会でもないのですから、それはそれでよいと思っています。ところがこの118回例会で、1人のメンバーが前日、「少し話したいこ

とがあるので時間を欲しい」と予告、了解の申し出がありました。話の内容は、山岳部とは全然関係のない次元の高い(?)ものでしたが、初の試みという点もあって、当日熱弁でしたが、デイベイトの場ではありませんので、全員話しをきき納めるだけにどめました。

この一例から、今回の次元の高い(この次元の解釈は自由で結構です)話もさることながら、集まることに誰かが「何か」を短時分しゃべるということを定例化したら、会の中味の充実につながるのでは……と思いつきました。

そんな固苦しいことを……と昔の山男たちは異議を唱えるでしょうが、その固苦しいことじゃなく、自分の身のまわりに起っていること、日々感じていること、こんなことを目にした等々を報告してもらおう、そして最後に発言者個人の感想なりしめくりをしてもらえれば、参加者全員の共通の話題を提供することになりおみやげに持ち帰れる酒の最上のアテの味が一段と美味しくなる——とんび狸の皮算用です。

次回第119回の集まりは野外ですが、ランチタイムにこの企画を試してみようと内心期しています。



当日の参加者 大阪市北区 ニューミュンヘン北大使館

### 火野正平さんが

桜塚をテレビで紹介!

高全29期 山澤 健二

平成26年9月26日に、NHKBBSの「にっぽん縦断こころ旅」で、桜塚高校が紹介されました。案内人の火野正平さんは、桜塚高校に入学されました。数ヶ月で役者のお仕事のため東京に行かれましたが、高校時代のこともほんの少しだけ覚えておられました。

番組で紹介された、田代比奈子(高全22期)さんのお手紙です。

正平さん、こんにちは。  
阪急岡町駅から商店街を抜けて豊中市役所の駐車場のなかを近道していくと桜塚高校があります。  
私の母校です。

学校帰りには友だちと商店街の亀甲堂という和菓子屋さんの奥の喫茶店で見たらだんごをよく食べました。  
もちろん校則違反です。

定期考査の最終日には岡町駅の、学校とは反対側のお店で豪華にお好み焼きを食べることもありました。

もちろん店を出るとき、鏡で青のりチェックは怠りませんでした。  
駅に戻っていくとき体育の山口ウメ子先生に見つかって「あんたらここで何してたんや」と聞かれ、  
「図書館に行っていました」と嘘つ

# WEB版非公開

正門前を走る火野正平さん

# WEB版非公開

たこともあり。

駅の反対側には図書館があったのですよ。

お金のないときはちよつと路地を入ったたこ焼き屋さんで当時三つ10円のたこ焼きを30円分ぐらい買って、原田神社の境内で食べました。

そこには、たまに噂のカップルがいることもあり、私たちは大きな声で「君はおぼえていいる〜か〜しら〜」などと歌ったりして、かなりイケズな女子8人組でした。私たちはいくらでもしゃべることがありました。しようむないことでもいくらでも笑うことができました。

いつまでも一緒に笑い合っていたいと思っていました。

でもみんな一応、良家の子でしたので、夕陽が沈む前には家に帰りました。

あれから50年近く経ち、それぞれの人生にはいろいろ(病死、自死、離婚、未婚…)ありました。

自分のことで精一杯で連絡を取り合わなくなった数年を後悔したりもします。

私たちは還暦を過ぎ、また一緒に笑い合うときを持てるようになっていきます。

6人組になってしまいました……。岡町界隈での思い出の数々が私

ちの宝物です。

番組をご覧になった方から、次の言葉が寄せられました。紹介します。

(高定19期 阪本仁吉さんよりブログへ)  
火野さんとは短期間ではありましたが一緒にクラスでした。その当時すでにテレビドラマに出演していたそうです。

その頃から自転車が好きだったみたいです。  
やはりその当時から非凡なものを感じましたね。センスがあり、今でいうオーラがありましたね。現代国語の時間で教科書の読み直しでは抜群に上手かったです。

しかし約一カ月位で残念ながら退学されたようです。  
二年程前に四十五年ぶりに同級生三人と再会できました。すごく感激しました。その時も火野さんの話で大変盛り上がりました。良き青春時代の思い出です。

(高全7期 坂本弘子さんよりハガキが)  
先日NHKBSPレミアム午後7時から、火野正平さんの「こころ旅」

# WEB 版非公開

母校校舎を振り返る火野正平さん

を見ていました。  
丁度、岡町近辺の取材で桜塚高校が映りました。なつかしく思われた方も多かったのではないかと思います。  
ちなみに火野正平さんも桜塚に入ったことでしたが、卒業はしなかったそうです。その頃から、やんちゃだったんですね。  
他にも口頭で、いろんな反響がありました。高校生時代の火野正平さんの写真があれば、お借りしたいですね。みなさんに紹介したいです。

# WEB 版非公開

原田神社鳥居前で田代さんからの手紙を読む火野正平さん

(高女3期故侯野加代氏の親族) 侯野 知津  
陽も長くなり初夏の風が気持ちよくて来ました。  
今年も尚和会会報を届けて下さり有難うございます。先日、母の友人の古川寿美江様から「会報に知津さんの手紙と懐かしい写真が載っていて皆と電話で話しているのよ」とお電話を頂いていました。

実は諸事情あり、一年程前から家の近くの賃貸住宅へ転居：留守宅には週に二回窓開け、郵便のチェック、庭の手入れなどに短時間戻るとい生活をしていましたので、会報の受け取りが遅れてしまいました。拝見してビックリ！恥ずかしいやら嬉しいやら：写真も大きくて♡ 叔父や従兄弟らにも見てもらおうと思っております。



母が高女四年の時のスケッチブックが見つかりました！  
人物や花なども描いてありましたがやはり風景がたくさんです。  
今はすっかり様変わりしているのですが、当時の景色はこんなだったのかなあ〜と眺めています。

本校にありがとうございます。  
桜塚高校のますますの発展をお祈り申し上げます。  
校内の桜！見事です♡

## 同窓生が俳風画詩集を上梓

紹介者 尚和会会長 大畠 光昭

この度、高全二十期生羽倉のり子さん(旧姓長井憲子)より、自費出版された『俳風画詩集・心のつばやきをさらり絵に寄せて』の第一集第二集の二冊を尚和会と母校にそれぞれ寄贈されました。

内容をご紹介させていただきます。  
「はじめ」の挨拶文の国語の恩師は井上まさ先生のことです。

著者 羽倉 のり子  
H5・6 地域の公民館講座で俳画を習う。

H11・5 自宅で作品展  
H12・7 第17回産経国際書展入選  
H13・7 第18回産経国際書展入選

連続出品、連続入選  
H14・9 市民ギャラリー川西で作品展  
H14・11 豊能町立図書館で作品展  
H15・2 能勢町自然休養村管理センターで作品展  
豊中水墨画展で奨励賞受賞 (H13、H15)

現在 大阪府豊能郡豊能町在住

## はじめに

高校時代の国語の恩師であり、一年時の担任であった先生が私の家に突然いらっしやったのは何時だったか：十二・三年程前にもなるでしょうか。  
「同窓会に出てこない貴女が気になって：」

高校を出て三十年近くが経っているのに、私を憶えて下さっているのが驚きでした。  
戦前は女学校の、戦後は男女共学の高校教師でいらっしやったので、教える子の数は多いことでしょう。その他大勢に過ぎない私を気に掛かると、訪ねて来て下さったのです。

どうしているのか気掛かり：と尋ねて下さる人が居るといのは嬉しいものです。年賀状すら出していなかったのですが、この訪問をきっかけに折々に葉書を出すおつき合いが始まりました。以来先生は、私のさらり絵の大事な読み手の一人になりました。

人を思いやる心はさり気ない仕事や、言葉に現れると思います。さらり絵に添えるつばやきはそとと差し伸べる手であり、寄り添う背中でありたいと思っております。

版画は地域の公民館講座で良き指導者に出会い、スケッチからの墨入れ、彫る、摺る楽しみを味わいました。  
こうして読んでいただきたいという思いの作品がまとまり本になりました。多くの方々のお力添えで第二集ができますことを嬉しく思い、心よりお礼申し上げます。

そして、この本を手にして下さっている方々との出会いに深く感謝致します。

す。  
二〇一二年八月 羽倉 のり子



## 心のつばやきをさらりて

2才位の子に「花を摘んできて」と言いますと、花だけを摘んでしまいます。

そこで「こうして摘むのよ」ってやってみせると一本摘んでは、私の許までとどける—  
という事を繰り返して、疲れるだろうと思う程往復して花束にしてくれます。

ところが幼稚園児程になりますと、右手に摘んでは左手に貯める—  
という事をして花束にします。  
絵を描きだしてからは、じっくり観察したり、その情景をたのしんだり、振り返って懐かしんだり何気ない仕事にも、はっと思うことが度々ありました。

感じるままに、さらりと書き留めた「つばやき」を共有して頂ければうれしく思います。  
(第一集より)

息子が二・三才の頃のこと—  
膝に乗せて抱きかかえていると「あのね、かあさんから、とつくんとつくんと、おっぱいをつくる音が聞こえるよ、ぼく、もう飲まなくなつたのね。」

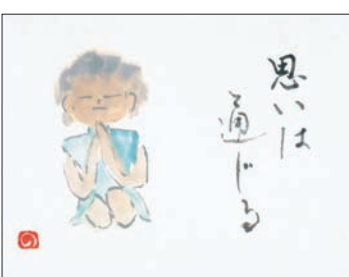
心臓の鼓動が、おっぱいを作る音に聞こえるなんて：  
赤ちゃんの時から聞き馴じんだ音



が、おっぱいを飲んでた自分と重なったのでしよう。毎日が追われるような子育てですが、愛しさを感じることもできたことを懐かしく思い出します。人生の内には、時を閉じ込めて鮮やかに瞬く、人との出会いや言葉があると信じて—  
(第二集より)



**羽倉のり子 作品展開催予告**  
平成27年9月9日(水)～9月14日(月)  
阪急池田駅ビル  
池田ギャラリー  
お時間ございましたらお立寄り下さい。



**高全四期 林 正宏**  
毎年このゴールデンウィークの時期に到着する『尚和会報』を、楽しみにしており、何回も何度も、読み返しなから、当時の思い出に暫し浸っております。『校内点描』が、小生の在学当時と昔日の感があり、興味深く、面白かったです。写真も沢山掲載されて良かったです。更に又、大阪府で『最も行きたい高校No.1』に母校が、昨年選ばれたと会報で初めて知りましたが、こんなに素晴らしい事は、会報でも大見出しでPRして欲しかったです。

**『豊中高等女学校』**  
**併設中学校の思い出**  
昭和23年(1948年)4月が、桜塚での私の懐かしい青春の思い出のスタートです。今も鮮やかに次々と目に浮かんで来ます。まさに『緑ぞ萌ゆる北摂の 豊島が丘は春なれど』です。

**☆顔が映る程ピカピカの美しい廊下**  
豊中中学の廊下はコンクリートでした。日々、米糠で磨いた先輩女学生のご苦労が感じられました。

**☆男子用トイレの不足・不便**  
一番遠い不便な場所に有りました。急ぐ時は、職員用を無断借用しました(中三の五組から一番近い場所です)

**☆自給自足のバレー部の合宿**  
まず、米の買い出しに箕面まで、リュック持参で出掛けました。寝泊りは、家庭科のお作法室でした。

**☆ラブレター大繁盛の下宿**  
偽ものに騙されたり、プレゼントに感激したり、一喜一憂。

**☆よくぞ付けたり先生方に失礼な雑名の数々**  
コエタン・グッサン・のそ・ナンバ粉・ウメケン・鶴さん…  
先生方の名前は、言えません (^)o(^)  
**☆オーバーフェンスお誂えの堀**  
桜のマークがお誂えの足場でした。何所からでも簡単に侵入しました。後に国登録有形文化財に認定されるとは



グラジオラス 清川英三画

ね。  
☆勉強の方は、常に女性上位、男子はひたすら騒ぐ毎日。  
お互いに、全然気にしませんでした。  
☆講堂下の半地下の薄暗い食堂  
いつも碌なものしかありませんでしたが、愛用しました。隣りは、卓球と柔道の練習場でした。  
☆屋上の望遠鏡で天体観測ならず、  
**プライベート観測**  
地学部の人以上にこちらの方が熱心でした。  
まだまだ、語るに尽きません。  
末筆ながら、会長を始め、尚和会役員の皆さんの格別のご尽力には、ただただ感謝するのみです。来年の会報を今から、楽しみにして居ります。小生に出来る事は、僅かに『協力金』を拠出する位です。皆様には、くれぐれも、宜しくお伝え下さい。  
益々のご健勝を祈念いたします。

**口惜しいね**  
高全四期 清川 英三  
口惜しいね。寂しいね。  
中島昭典が昇天なんて、シャレにならないよ。  
病にあっても酔心忘れず、友を気遣い、楽しませる。  
その面影は隣の奥に、歓談の声は耳朶に、好漢、盃を唇に、安らかに眠り給え。  
(平成二十七年二月九日没)

**MR. 清川英三<sup>o</sup>ギャラリー (高全4期)**  
[2014. 11. 13 京都万華鏡ミュージアムにて開催]

平成二十六年五月から平成二十七年一月までにお送り  
頂いたものの中から掲載しています。

お便りから



WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

---

WEB 版非公開

---

WEB 版非公開

---

WEB 版非公開

---

WEB 版非公開

# WEB 版非公開

●退職 全日制課程  
 国語 社会 社会 数学 理科 保健体育 英語 書道  
 太田 藤井 福山 田中 宍戸 浅井 鎌田 長谷川

教職員人事異動  
平成二十七年年度

# WEB 版非公開

## WEB 版非公開

●着任 定時制 ●転任  
 数学 理科 英語 英語 英語 書道 理科 理科 数学 数学 社会 国語 ●着任 英語 英語 理科 数学  
 平澤 山上 山田 倉石 橋本 久保 榎木 白澤 本多 猪部 吉田 石原 栗村 松原 松島 田中 古川 平松 亘 宮守 高本 林田 喜田 梶田 北川 根岩 西生 細川 内田

# WEB 版非公開

The Colour of Future




明日の色をつくる……  
**ターナー**色彩株式会社 代表取締役社長 地平 宏  
 本 社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2-15-7  
 TEL:(06)6308-1212 FAX:(06)6308-1044  
 東京支店 〒171-0052 東京都豊島区南長崎6-1-3  
 TEL:(03)3953-5161 FAX:(03)3953-5153

URL: <http://www.turner.co.jp/>  
[facebook.com/turner.colour.works](https://www.facebook.com/turner.colour.works)  
 ISO 9001 認証取得



森のおはぎ 本店  
 中核塚2-25-10  
 TEL:06-6845-1250  
 森下お菓子 姉妹店  
 曽根崎新地1-1-43 第二大川ビル1階  
 TEL:06-6341-2320

coupe de Minami スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所  
 所長 南 正枝 (高全15期)

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?

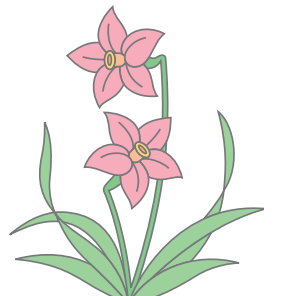



ボディに布を直接のせて服をつくってみましょう!  
 (立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)  
 昭和42~45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得  
 昭和45~47年 カネボウCristian Diorアトリエでデザイナー  
 昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ : 〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151  
 E-mail [info@coupe-de-minami.com](mailto:info@coupe-de-minami.com) URL <http://www.coupe-de-minami.com>



# 東京支部だより

東京支部副支部長 越智 秀樹 (高全十七期)

第九回 尚和会東京支部の総会・懇親会は、平成二十六年十一月十六日(日)TKPガーデンシティ品川にて開催されました。同総会・懇親会は、二年に一度開催され、本年は来賓・会員・軽音楽部の顧問・部員の方をふくめて八十七名と和やかな雰囲気の中で盛会裏に実施されました。

八十七名の内訳は、来賓(含む軽音楽部学生)十五名・会員七十二名(高女一名・高校七十一名)でした。主催者を代表して、北村正和支部長(高十四期)挨拶、来賓紹介・挨拶、議長選出と進み、議題審議に入りました。議事の進行は各種活動報告、会計報告、監査報告、役員改選(北村正和支部長から竹村慶三支部長(高十七期)への改選が承認されました)、規約改正と滞りなく進められ総会は終了いたしました。来賓挨拶として加藤校長先生から、学校紹介があり、めざす学校像として従来の多文化社会に生きるリージョナルリーダーからグローバルリーダーの育成を目指している。その為に『海外語学研修』を米国カルフォルニア州サンフランシスコ周辺で実施。今春は三十名弱の生徒たちが研修を受けたこと。また大阪府下中学三年生対象の『行きたい高校志望校』アンケートで第2位を獲得したこと等、母校の現状について語られました。

総会終了後、全員による記念撮影があり、後半の懇親会アトラクションへと移りました。アトラクションの第一部では、桜塚高校軽音楽部バンド『さくらヒルズ』の演奏でした。演奏を見てくれる人を楽しんでもらえるステージをモットーに活動。桜塚商店街の応援ソング『おかまち桜いろ』は圧巻でした。アトラクションの第二部は高校三十期でもある森 隆久さん 桂 蝶六(かつら ちょうろく)師匠の落語。近々、三代目 桂 花團治を襲名予定の蝶六師匠の声量のある軽妙な斬を楽しみました。

アトラクションの第三部では『在学時代を想い出す懐かしき歌』である①ふるさと②上を向いて歩こう③学生時代④青い山脈を軽音楽部の伴奏のもと全員で斉唱しました。会食をしながらの懇親会では和やかに始まり、卒業年次同年層のグループの垣根を超えた歓談となり近況交換など旧交を温め楽しい雰囲気でもたたく間に時間が過ぎて行きました。

また、武田昌恵(高女三期)さんが遠く仙台から参加され、当時の昔話をして頂き、加藤恵美子(高七期)さんからもスピーチを頂きました。総会・懇親会アンケート回答でも『先輩お二人の昔話等充実して楽しかった』と好評価でした。(別添『アンケート回答状況』をご参照ください。)

現役軽音楽部への一層の活躍へのエールとして実施された『軽音楽部のエール支援』では、多数の方々から賛同を頂き多額(八万五千六百元)の募金となりました。軽音楽部代表に贈呈させて頂きました。

最後に全員で会場一杯に校歌(高女・高校)斉唱し、桜塚高校の卒業生であることを誇りに思いつつ閉会いたしました。

次回は平成二十八年秋開催の予定です。ぜひ同期の皆様はもちろん、お友達お誘いあわせ、多くの方々にご参加いただきます様おねがいいたします。



ご挨拶 平成27年3月吉日

尚和会東京支部 支部長の竹村 慶三(高全17期)でございます。2014年(平成26)11月16日(日)開催の第9回東京支部総会・懇親会において北村 正和前支部長(高全14期)の後任として選任されました。

何分にも若輩かつ未熟者ですので、皆さまのご指導ご鞭撻並びにご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

平成9年に設立されました東京支部は、今年度から一都10県(東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・栃木・群馬・山梨・長野・新潟・静岡)と組織体制を拡充、会員数も約2,000名の大組織になりました。そのため、先の総会にて、新しく黒須 益子さん・生田 祐吉さん・石田 啓子さん・山崎 洋子さん(いずれも高全17期)の4名を役員に迎え、更に伊勢 隆俊氏・北村 正和氏・三住 勉氏(いずれも高全14期)の3名の方を顧問に就任いただき、総勢役員18名と執行部体制の拡充を図りました。

引き続き尚和会本部の運営活動方針に沿い更なる支部活動充実に努め、会員相互の連絡と親睦を図るとともに、母校及び尚和会の発展に寄与・貢献したいと考えております。具体的には、年次横断・年次別の交流促進と若手卒業生の取り込みを中期的課題として取り組んでいきたいと存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

簡単ではございますが、支部長就任のご挨拶とさせていただきます。尚和会東京支部 支部長 竹村 慶三(高全17期)



## ◎活動報告

### 1. 役員会

平成26年度(26/4~27/3)

計9回(4/2・6/9・7/12・8/28・9/12・10/17・11/5・11/11・12/4)

### 1. 尚和会本部(大阪)理事会・総会への出席

平成26年度(26/4~27/3)

計5回(5/10・5/18・9/6・11/8・1/18)

第9回尚和会東京支部総会 懇親会 アンケート回答状況

	高女				高校				合計
	回収0	回収10	回収14	回収4	回収0	回収10	回収14	回収4	
1. 開催時期	0%	36%	50%	14%	0%	36%	50%	14%	100%
2. 会費について	通り	通り	通り	通り	通り	通り	通り	通り	通り
3. 総会について	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった
4. 懇親会について	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった
5. アトラクション	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった
6. その他	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった	良かった

## 尚和会東京支部 平成26年度決算報告・27年度予算

【決算報告】(自:平成26年4月1日 至 平成27年3月31日) 【平成27年3月10日現在 収支決算】 (単位:円)

科目	予算	決算	差引過不足	備考	27年度予算
収入の部					
懇親会会費	910,000	483,000	▲ 427,000	総会・懇親会(平成26年度支部総会出席者69名×7000円)	0
協力金	400,000	393,910	▲ 6,090	69名+146名=215名	0
本部支援金(A)	400,000	400,000	0	本部援助金(A)(平成26年度)	400,000
本部支援金(B)	600,000	348,000	▲ 252,000	本部援助金(B)(平成26年度支部総会出席者87名×4000円)	0
祝儀	0	28,000	28,000		0
利息収入	0	49	49	預金利息	0
雑収入	0	0	0		0
計	2,310,000	1,652,959	▲ 657,041		400,000
支出の部					
事務費	100,000	85,124	14,876	事務用品・封筒代・プリンターインク代・コピー用紙代 コピー代・宛名シール代・振込受払通知表印刷代	50,000
通信費	130,000	180,182	▲ 50,182	案内状発送代・宅急便代・切手代	100,000
交通費	100,000	125,190	▲ 25,190	交通運賃代	100,000
会費	200,000	31,824	168,176	役員会会費(役員会9回)・貸室代	50,000
総会費	1,730,000	1,345,177	384,823	宴会費・楽器賃貸・軽音楽部生徒挨拶・総会写真代 落語師礼・手土産代	0
慶弔費	0	0	0		0
雑支出	10,000	2,592	7,408	振込手数料	0
予備費	0	0	0		0
計	2,270,000	1,770,089	499,911		300,000
1 差引当期収支	40,000	▲ 117,130	▲ 157,130		100,000
2 前期繰越金	170,966	170,966	—		53,836
3 (1+2)合計	210,966	53,836	—		153,836
4 次期繰越金	—	53,836	—		—
借方				貸方	
現金	0	—	—	—	—
郵便振替口座	11,126	—	—	次期繰越金	53,836
普通預金	42,710	—	—	—	—
合計	53,836	—	—	合計	53,836

以上、決算報告いたします。 決算に対し監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成27年3月10日

平成27年3月10日

会計(高17期) 越智秀樹 印

会計監査(高14期) 上田晶子 印

平成二十七年尚和会新年会報告  
高全十五期 副会長(行事担当)

南 正枝

今年度評議員会、理事会新年会は、平成二十七年一月十八日(日)リッツカールトン大阪にて開催されました。今年も厳しい寒さの中、梅田より少し離れた、ほんの少し入口をさがしづらい中、しかし、中に入ればヨーロッパ調の雰囲気いっぱいの会場に五十六名の参加者があり、熱気があふれ春が来たようでした。



新東京支部長 竹村慶三氏挨拶



加藤学校長挨拶



大島会長挨拶



会長賞当選 高全19期  
大島順子さん

歌わせて頂き、楽しい一時を過ぎて頂きました。

今年は、少しちがった高級感を感じる雰囲気のリッツカールトン大阪の美味しい料理とお酒をいただきながら昨年同様、ほんのひと時、脳の活性化のために、各テーブルごとに和合一体化としてクイズを楽しんでいただきました。正解者に商品券を渡していただきます。正解者に商品の北の坊英美子さんより毎回沢山の景品をいただくおかげで皆様大変に賑わい、大満足でした。誠にありがとうございます。又、今年は、ラジオ等で活躍されているタイガースの放送番組をもっておられ、スポーツキャスター・ミスター・トラの高全十期の唐渡吉則さんが参加されました。数年前大病を患われましたが、奇跡的に回復され、久しぶりにお元気なお顔をみせて下さいました。皆で唐渡さんを囲んで写真を撮りました。唐渡さんの先導のもと「六甲おろし」を



高全10期ミスター・トラこと唐渡吉則氏

それから、竹村慶三東京新支部長(高全十七期)の乾杯で懇親会の開会となりました。



尚和会評議員会理事会新年会  
ザ・リッツ・カールトン大阪



今年も4月4日(土)に母校にて「しだれ桜観賞会」を開催いたします。このような取り組みを通し、地域和合の為、又、母校に貢献させて頂くと同時に、現役生徒が尚和会を、より理解し卒業後も桜塚高校の為に携わっていただく事を希望いたします。

WEB版非公開

平成二十六年に同窓会へ  
連絡のいただいた物故者芳名

WEB版非公開

平成二十六年物故者芳名  
(平成26年1月1日～12月31日まで)

WEB版非公開



●旧職 千円  
 二千円  
 三千円  
 四千円  
 五千円  
 ●高女1 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 五千円  
 ●高女2 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女3 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女4 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女5 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円

平成二十六年 会報代・協力金  
 ◆ご協力ありがとうございました◆  
 (金額は納入合計額)

# WEB 版非公開

千円  
 二千円  
 三千円  
 四千円  
 五千円  
 ●高女6 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女7 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女8 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女9 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女10 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円

# WEB 版非公開

六千円  
 五千円  
 四千円  
 三千円  
 二千円  
 千八百円  
 ●高女11 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女12 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女13 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女14 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円

# WEB 版非公開

七千円  
 一万円  
 ●高女15 千円  
 一万二千円  
 三千円  
 二千円  
 ●高女16 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女17 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女18 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円

# WEB 版非公開

二千円  
 三千円  
 五千円  
 六千円  
 一万円  
 一万二千円  
 ●高女19 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円  
 ●高女20 千円  
 六千円  
 五千円  
 三千円  
 四千円

# WEB 版非公開

四千元 三千元 二千元 ●高金14 六千元 四千元 五千元 三千元 二千元 ●高金13 四千元 五千元 三千元 二千元 ●高金12 六千元 五千元 四千元 三千元

# WEB 版非公開

五千元 四千元 三千元 二千元 ●高金17 四千元 五千元 三千元 二千元 ●高金16 七千元 六千元 五千元 四千元 三千元 二千元 ●高金15 一万二千元 一万千元

# WEB 版非公開

一万二千元 一万千元 四千元 五千元 三千元 二千元 ●高金21 一万二千元 一万千元 七千元 六千元 五千元 四千元 三千元 二千元 ●高金20 一万千元 五千元 三千元 二千元 ●高金19 六千元 一万千元 四千元 三千元 二千元 ●高金18 一万二千元 一万千元 六千元

# WEB 版非公開

三千元 二千元 二千元 ●高金28 四千元 三千元 二千元 ●高金27 六千元 五千元 四千元 三千元 二千元 ●高金26 六千元 五千元 三千元 二千元 ●高金25 六千元 四千元 三千元 二千元 ●高金24 四千元 三千元 二千元 ●高金23 五千元 三千元 二千元 ●高金22 六千元 五千元 四千元

# WEB 版非公開

●高金37 一万二千元 六千元 四千元 三千元 二千元 ●高金36 三千元 二千元 ●高金35 五千元 三千元 二千元 ●高金34 三千元 二千元 ●高金33 三千元 二千元 ●高金32 六千元 五千元 四千元 三千元 二千元 ●高金31 三千元 二千元 ●高金30 一万千元 六千元 五千元 三千元 二千元 ●高金29 六千元 五千元 四千元

# WEB 版非公開

●高全60 三千円 ●高全59 六千二百円 ●高全58 三千円 ●高全57 三千円 ●高全56 三千円 ●高全55 三千円 ●高全54 三千円 ●高全53 三千円 ●高全52 三千円 ●高全50 五千円 ●高全49 二千円 ●高全48 五千円 ●高全46 三千円 ●高全45 三千円 ●高全44 六千円 ●高全43 二千円 ●高全42 五千円 ●高全41 二千円 ●高全40 六千円 ●高全39 二千円 ●高全38 二千円 ●高全37 二千円 ●高全36 二千円 ●高全35 二千円 ●高全34 二千円 ●高全33 二千円 ●高全32 二千円 ●高全31 二千円 ●高全30 二千円 ●高全29 二千円 ●高全28 二千円 ●高全27 二千円 ●高全26 二千円 ●高全25 二千円 ●高全24 二千円 ●高全23 二千円 ●高全22 二千円 ●高全21 二千円 ●高全20 二千円 ●高全19 二千円 ●高全18 二千円 ●高全17 二千円 ●高全16 二千円 ●高全15 二千円 ●高全14 二千円 ●高全13 二千円 ●高全12 二千円 ●高全11 三千円 ●高全10 五千円 ●高全9 六千円 ●高全8 八千円 ●高全7 四千円 ●高全6 五千円 ●高全5 五千円 ●高全4 三千円 ●高全3 二千円 ●高全2 二千円 ●高全1 二千円

# WEB 版非公開

●高全11 三千円 ●高全10 五千円 ●高全9 六千円 ●高全8 八千円 ●高全7 四千円 ●高全6 五千円 ●高全5 五千円 ●高全4 三千円 ●高全3 二千円 ●高全2 二千円 ●高全1 二千円 ●高全66 一万円 ●高全65 二千円 ●高全64 五千円 ●高全63 五千円 ●高全62 五千円 ●高全61 六千円 ●高全60 三千円 ●高全59 三千円 ●高全58 三千円 ●高全57 三千円 ●高全56 三千円 ●高全55 三千円 ●高全54 三千円 ●高全53 三千円 ●高全52 三千円 ●高全50 五千円 ●高全49 二千円 ●高全48 五千円 ●高全46 三千円 ●高全45 三千円 ●高全44 六千円 ●高全43 二千円 ●高全42 五千円 ●高全41 二千円 ●高全40 六千円 ●高全39 二千円 ●高全38 二千円 ●高全37 二千円 ●高全36 二千円 ●高全35 二千円 ●高全34 二千円 ●高全33 二千円 ●高全32 二千円 ●高全31 二千円 ●高全30 二千円 ●高全29 二千円 ●高全28 二千円 ●高全27 二千円 ●高全26 二千円 ●高全25 二千円 ●高全24 二千円 ●高全23 二千円 ●高全22 二千円 ●高全21 二千円 ●高全20 二千円 ●高全19 二千円 ●高全18 二千円 ●高全17 二千円 ●高全16 二千円 ●高全15 二千円 ●高全14 二千円 ●高全13 二千円 ●高全12 二千円 ●高全11 三千円 ●高全10 五千円 ●高全9 六千円 ●高全8 八千円 ●高全7 四千円 ●高全6 五千円 ●高全5 五千円 ●高全4 三千円 ●高全3 二千円 ●高全2 二千円 ●高全1 二千円

# WEB 版非公開

●高全63 三千円 ●高全57 三千円 ●高全56 六千円 ●高全55 三千円 ●高全54 一万円 ●高全49 二千円 ●高全47 五千円 ●高全44 二千円 ●高全41 二千円 ●高全31 三千円 ●高全25 五千円 ●高全24 二千円 ●高全22 二千円 ●高全21 三千円 ●高全19 一万一千円 ●高全18 五千円 ●高全17 六千円 ●高全14 五千円 ●高全13 三千円 ●高全12 二千円 ●高全11 三千円 ●高全10 五千円 ●高全9 六千円 ●高全8 八千円 ●高全7 四千円 ●高全6 五千円 ●高全5 五千円 ●高全4 三千円 ●高全3 二千円 ●高全2 二千円 ●高全1 二千円

# WEB 版非公開

## 炭焼 やきとり一番 同期会の2次会でご相談ください!

人数、予算、時間などお気軽にご相談ください。

やきとり一番十三西口店

### 一番コース飲み放題付

¥3500

付き出し

サラダ2種

炭焼料理10種

ポテトフライ

鶏の唐揚げ

焼おにぎり

アイスクリーム



2階は京町屋風の個室4部屋あり  
最大14名様

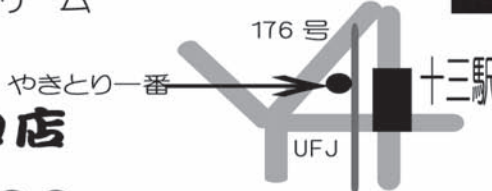


高全31期 中村唯光

炭焼 やきとり一番 十三西口店

〒532-0024 大阪府大阪市淀川区十三本町1-4-19

電話：06-6309-9722



十三駅西口を出て賃貸住宅を右に



# 平成二十六年総会・懇親会

総務担当副会長 高全29期 山澤 健一

今年も5月18日に、ホテルアイボリーにおきまして『平成二十六年総会・懇親会』が開催されました。

この日は昼前から、初夏を思わせる好天で、その青空のように楽しい宴になりました。

会員や東京支部長、来賓、アトラクション演者を含めると、1000人を超える参加者になりました。桜の花びらが集い大輪の花を咲かせたような会場でした。

崎副会長の進行で、総会が始まります。その前に、伝統を重ねた我が校らしく、まずは物語者に対して黙祷を行いました。瞑った瞼の裏には、今は亡き旧友や恩師の顔が通り過ぎたでしょう。

以下、総会の式次第です。

- 一、開会の辞 崎副会長
- 一、会長挨拶 大島会長
- 一、来賓挨拶 加藤学校長
- 一、尚和会役員紹介 大島会長
- 一、花束贈呈
- 一、平成二十六年各委員会事業計画 山澤副会長
- 一、総務委員会 大島会長 (代理)
- 一、行事委員会 大島会長 (代理)
- 一、広報委員会 大島会長 (代理)
- 一、平成二十五年 決算報告 中岸副会長
- 一、平成二十五年 会計監査報告 佐藤会計監査

- 一、平成二十六年 予算報告 中岸副会長
- 一、閉会の辞 崎副会長

さて総会の緊張の後は、楽しいアトラクションです。

今年も、豊中出身で、お父様が「尚和会会員」の桂吉弥師匠にお願いしました。師匠は現在テレビのコメンテーターも務め、落語以外にも様々な方面で活躍されております。この日も自慢の美声を披露した後、古典落語をじっくりと聞かせてくださり、笑いの絶えない三十分間でした。

笑顔を残したまま、懇親会が始まりました。これからの進行は五十七期の柴田綾さんです。ここ数年、お願いしていますので、堂々としたおしゃべりです。

会場には吉弥師匠も残ってください、テーブルをまわってお話ししながら、写真もご一緒して頂きました。食事もお楽しみ抽選会で歓声を上げた後、最後は校歌斉唱です。混声二部合唱がホテルアイボリーを包みました。

一面にも紹介していますが、今年の総会は5月17日の日曜日です。アトラクションには大阪音楽大学卒業生によるグループ、声楽と管弦楽器アンサンブル「ハープリランテ」です。ピアノ・フルート・クラリネット・バイオリンと子ども10人をまじえての混声合唱です。クラシック・歌謡曲・童謡な

どを披露して頂きます。きっと楽しいひと時になるでしょう。



落語 桂吉弥師匠



懇親会々場



総会々場



桂吉弥師匠を囲んで



大島会長挨拶



桜塚高校尚和会 懇親会



桂吉弥師匠

お一人でもたくさんのお窓生とお越しく下さい。お待ちしております。

## 編集後記

今年も五月初めに、皆様への会報をお届けすることが出来て、肩の重荷が降りました。五十一号の会報から広報委員長を拝命し、爾来、実に十三年間に亘り会報編集発行に携わって来ました。

来年の会報発行は、決算期の月が三月末から年末の十二月に変更になりましたので、少しは時間的余裕の中で編集作業が出来そうです。

最後に、毎年投稿して頂く会員の方々や、その他数多くのお便り等の原稿をお寄せ下さったOB、OGの方々に対し、紙面をお借りして深く御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

最後に、毎年投稿して頂く会員の方々や、その他数多くのお便り等の原稿をお寄せ下さったOB、OGの方々に対し、紙面をお借りして深く御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

会長 大島 光昭 (高全十五期)

